

生活・ケアベッド モーニンググライト

取扱説明書




安全にお使いいただくために


この度は当社製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。ご使用前に取扱説明書を確認の上、正しくお使いください。確認後は、本取扱説明書を大切に保管してください。また利用者様の身体状況や環境が変化した場合には、医師や看護師、福祉用具専門相談員などの専門の方に相談し適切な処置を受けてください。

安全上の注意 必ずお守りください

①利用者様や他の人への危害・財産への損害などを未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。


取扱説明書に表示されている記号や用語は、表示内容を見逃し誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次のような表示区分であらわしています。


 **警告：**死亡または重傷などを負う可能性を意味します。

 **注意：**障害を負うまたは物的損害を発生させる可能性を意味します。

注意：本製品の故障を防止するための注意事項や、より満足に使用していただくためのアドバイスを意味します。

②お守りいただく内容の種類を次の表示区分であらわしています。

 **：**してはいけない「禁止」を意味します。

 **：**必ず実行していただく「強制」を意味します。

○注意事項	P2
○各部名称	P5
○梱包内容	P6
○機能	P7
○設置場所	P9
○組立方法	P10
○高さ調整方法	P18
○角度調整方法	P19
○ワイヤレス(無線)リモコンの乾電池について	P20
○ペアリングNo.の確認方法	P20
○トレイおよびサイドレール(別売品)の取り付け方法	P21
○緊急時の背下げ方法	P22
○組立後の移動	P23
○分解方法	P24
○運搬方法	P30
○保管方法	P30
○お手入れ方法	P31
○点検項目	P31
○このようなときには	P33
○仕様	P34



警告

① 安全のため、周辺機器とのすき間に十分注意してください。

壁際や機器周辺に設置する場合は、それらとのすき間や周辺にある家具などとの距離(すき間)には十分注意してください。(P9参照)

② ベッドは正しい向きで使用してください。

ベッドの頭側・足元側を間違えて使用すると、背上げの場合は、無理な姿勢となりケガをするおそれがあります。また、うつ伏せ・横向きで使用した状態で角度調節は行わないでください。関節を逆に曲げることになり、ケガをするおそれがあります。

③ 安全のため、ベッド下に潜りこんだり、ボトムのすき間に手・腕・足などを入れないでください。

ベッドの可動部分やフレームなどの間にはさまれてケガや事故の原因になります。

また、ベッドを操作する方はベッドから頭・腕・足などが出していないか、ベッドの下に人・物がいないか、周りに障害物などがいないかを確認して操作を行ってください。

④ ワイヤレス(無線)リモコン操作は取り扱いを理解できる方が行ってください。

お子様や操作を理解できないと思われる方(認知症の方など)が一人でワイヤレス(無線)リモコンに触れる可能性がある場合(介護する方が外出されるときなど)は、電源プラグをその都度抜いて誤操作による事故を未然に防いでください。

また、ベッドを操作する方および介護する方は必ず、ワイヤレス(無線)リモコンの操作方法を理解した上で使用してください。

⑤ ベッド操作中はベッドから頭・腕・足などを出さないでください。

ベッドの可動部やフレームなどにはさまれてケガや事故の原因になります。

⑥ 本製品は屋内専用です。屋外では使用しないでください。

フレームが腐食し、使用できなくなります。

尿など水分が背上げ用モーターやワイヤレス(無線)リモコンにかかった場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて販売店に連絡してください。

⑦ ベッドボトムにはすき間があります。ベッドを踏み台代わりにしたり、飛び跳ねたりしないでください。

ベッドから転落・転倒したり、すき間にはさまれてケガをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

⑧ 背やフットボトムを上げた状態で、ボトムの上で飛び跳ねる・ボトムに飛び乗るなどの行為は絶対にしないでください。

ケガや事故の原因になります。

⑨ ベッド上で立ち上がったりしないでください。

ベッドボトムのすき間に足がはさまったり、不安定になることでかたむき、転落・転倒のおそれがあります。

⑩ ベッドの急な降下防止のため、固定ノブを確実にしめてください。

⑪ ボトム高さの調整を行う場合は、片手で高さ調整レバーを握り、調整してください。

また、ボトムを下げる場合は、足元がベッド下に入らないように注意してください。

⑫ 本製品に貼ってあるシールは、はがさないでください。

利用者様を危険から守るためや故障時に素早い対応をするためです。

ロット番号から詳細仕様が分かり、的確な対応が可能になります。

⑬ 高さ調整レバーのワイヤーは必ず高さ調整シリンダーの上を通してください。(P16参照)

下を通すと、フレームにはさまれ、破損や断線のおそれがありますので十分注意してください。

⑭ 背上げ用モーターは2分以上連続して使用しないでください。

加熱により、温度ヒューズが働き動かなくなります。

動かなくなったら販売店にお問い合わせください。この場合は、修理費が発生します。

⑮ 掃除などベッドの下に入る場合は、電源プラグを抜いてください。

ワイヤレス(無線)リモコンの誤操作などによりケガをするおそれがあります。

⑯ 電源コードは、プラグは持って抜き差ししてください。

電源コードのみを持って引き抜くと、コードが傷んで感電するおそれがあります。

⑰ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

ショートして感電・故障のおそれがあります。

⑱ 電源プラグにホコリを付着させないでください。

電源プラグの表面にホコリが付着している場合は、乾いた布などでよく拭き取ってください。

電源プラグの表面にホコリが付着していると、発火するおそれがあります。

注意事項

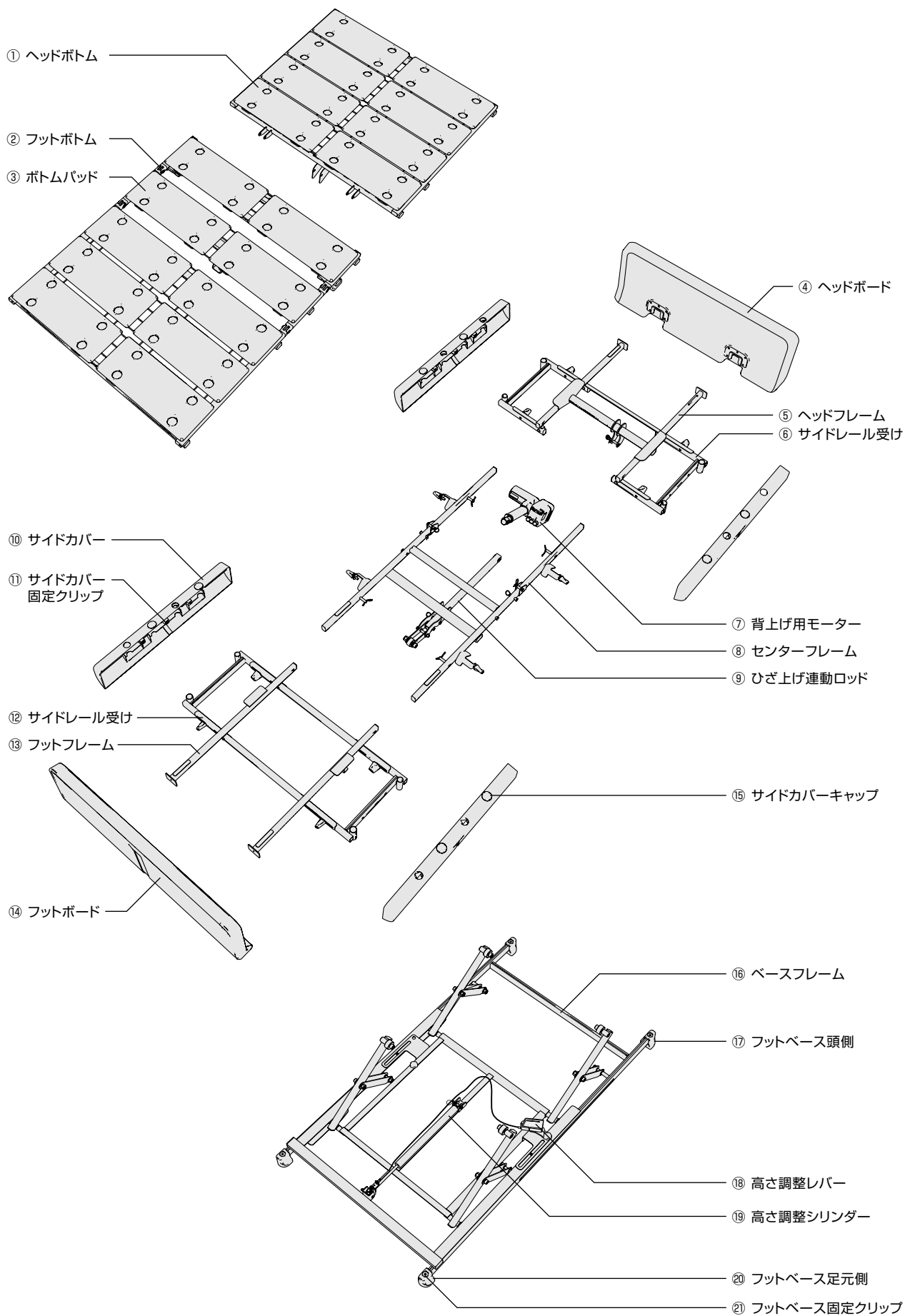
- ①⑨電源コードをヘッドボードやフットベースにはさまないように注意してください。
コードが傷むことで漏電し、感電や火災のおそれがあります。またコードが断線し、ベッドが動かなくなるおそれがあります。
- ①⑩水などをこぼさないでください。
背上げ用モーターやワイヤレス(無線)リモコンに、水やジュースなどの液体をこぼさないでください。
液体がかかると感電したり破損する原因になります。
誤って液体がかかってしまった場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて販売店に連絡してください。
- ①⑪お客様による修理・改造はしないでください。
故障や異常動作の原因になり、ケガをするおそれがあります。
- ①⑫本来の目的以外に使用しないでください。
本来の目的以外に使用すると、ベッドの破損や思わぬケガをするおそれがあります。
- ①⑬地震や火災、水害などで被災したベッドは電源プラグを抜いて、販売店に点検を依頼してください。
電気部品のショートなどで、漏電、感電するおそれがあります。
- ①⑭ベッド周辺の動作範囲には物を置かないでください。
ベッドの下に物をはさんだ場合は、ベッドの破損や使用者の転倒、転落、電源コードの傷みによる火災などの危険があります。
また、ベッドの背上げ、背下げまたは高さ調整を行う場合は、点滴のスタンドやチューブ、その他医療機器など周りの物に注意しながら操作を行ってください。
- ①⑮使用する前に、各部のピン・割りピン・ボルト・ナット・ノブ・止め具が確実に固定されているか、確認してください。
取り付けが不十分だったりゆるんでいると、使用中にパーツが外れ、ベッドの破損や思わぬケガをするおそれがあります。
- ①⑯ヘッドボードやフットボードは固定フックを必ずかけてください。
- ①⑰ヘッドボードやフットボードに寄りかかったり、腰をかけたりしないでください。
固定部が外れたり、かたむくことで転倒し、ケガをするおそれがあります。
- ①⑱最大利用者体重を守り、ベッドに安全動作荷重を超える荷重を加えないでください。
最大利用者体重は100kg、安全動作荷重は1200Nです。
安全動作荷重は、ベッドを安全に使用できる荷重であり、利用者体重とマットレスやオプションなどの合計荷重です。
- ①⑲ボトムパッドが外れた状態で使用しないでください。
フレームのすき間やベッドの可動部にはさまれ、ケガや製品の破損、事故の原因になります。
外れた場合は、ボトムに取り付けてください。
- ①⑳使用する寝具は以下の条件に適合したものを使用してください。
・幅95cm以上、100cm以下のもの
・長さ195cm以上、210cm以下のもの
・厚さ12cmまでのもの
・スプリングマットレスや厚手のマットレスは使用できません。
上記条件を満たしていても背上げ動作を確認して使用してください。背上げ動作に合わないものは使用できません。
- ㉑当社91cm幅マットレスを使用する場合は、必ず専用のスペーサーとボックスシーツを併用してください。
専用スペーサーがない場合は、はさみ込みによりケガの原因となります。
- ㉒やわらかい布団や薄手の敷布団を使用する場合は、布団に手やひざをついたときにベッドボトムのすき間に手やひざがはさまり、ケガをするおそれがありますので、確認の上、使用してください。
- ㉓本製品はワイヤレス(無線)リモコンを使用しています。
他の機器類に影響がないことを確認の上、使用してください。
- ㉔ペアリングNo.が同じ製品を近くで使用すると同時に作動することがあります。
ペアリングNo.が同じ製品を近くで使用しないでください。(P20参照)
同時に作動すると思わぬ事故やケガにつながるおそれがあります。
- ㉕サイドカバーを取り付けて使用してください。
ボトムとサイドレール受けに大きなすき間ができ、手や腕をはさまれたり抜けなくなり、ケガをするおそれがあります。
- ㉖転落・転倒のおそれがある方は、安全のためサイドレールを使用してください。
転落・転倒のおそれがある場合は、必ずサイドレールを使用してください。
それでもすき間から転落する可能性がある場合は、ベッドを低くするか、クッション材を床面に敷いてください。
また、サイドレールのすき間に頭・腕・足などが入らないように注意してください。

- ③⑦ サイドレール使用時もベッドからの転落に十分注意してください。
サイドレールとサイドレールのすき間から落下したり、サイドレールの上から身を乗り出して落下し、ケガをするおそれがあります。
寝返り、起き上がり、立ち上がりは十分注意して行ってください。
それでもすき間から転落する可能性がある場合は、ベッドを低くするか、クッション材を床面に敷いてください。
- ③⑧ サイドレールのすき間に頭や首が入らないように十分注意してください。
サイドレールのすき間に頭や首が入らないようにしてください。
頭や首がすき間に入ると抜けなくなり、ケガをするおそれがあります。
- ③⑨ サイドレールの外には頭・腕・足などを出さないでください。
操作中にすき間で手をはさんだり、頭・腕・足などを手すりにはさみ、抜けなくなる危険があります。
特に体位を自分で保持できない方は十分注意してください。
- ④⑩ サイドレールは転落や寝具の落下を防ぐ製品です。
手すりかわりに使用したり、サイドレールに座ったり体重をかけないでください。
かたむいて転倒するおそれがあります。過度の荷重をかけると破損する可能性があります。
- ④⑪ サイドレール受けは固定ノブで確実に固定してください。
ゆるむことでサイドレールがヘッドボトムに接触し、破損・変形・ケガをするおそれがあります。
- ④⑫ ヘッド・フットボードを取り外して使用しないでください。
寝具が極端にすれたり、ベッドから転落・転倒し、ケガをするおそれがあります。



- ① 二人以上で使用しないでください。
ベッドは一人用の設計になっています。二人以上で使用すると、ケガやベッドの破損のおそれがあります。
- ② ワイヤレス(無線)リモコンは所定の位置に置いてください。(P8参照)
ベッド上に置くと肘や手などで押ししまい、誤動作を招くおそれがあります。
- ③ 長期間使わない場合は、電源プラグを抜いてください。
長期間使用しない場合は、誤動作などを防ぐため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ④ 有機溶剤やスプレータイプの殺虫剤などをベッドに直接噴射しないでください。
シンナーやベンジンなどの有機溶剤や殺虫剤に含まれる溶剤によってベッドが破損・変色・溶解するおそれがあります。
また、破損・溶解した部分で思わぬケガをするおそれがあります。
- ⑤ 指定以外の製品とは組み合わせないでください。
指定以外の製品(手すり・サイドレールなど)と組み合わせると、体がはさまれケガをしたり、ベッドに負担をかけ故障の原因になることがありますので、指定製品以外は使用しないでください。
- ⑥ 治療中の方は医師に相談してください。
現在治療中の方は、ベッドの操作が症状を悪化させる可能性があります。
ベッドの使用に際して不安や疑問がある場合は、かかりつけの医師に相談してください。
- ⑦ 緊急時には、ベッドを水平な状態へもどしてください。
停電や、背上げ中ベッドが急に止まった場合は、ベッドを水平な状態へ戻してください。(P22参照)
- ⑧ 定期点検を行ってください。
長く、安全に使用していただくために、定期点検を行ってください。(P31参照)
万が一、破損やガタつきなどがひどい場合は、直ちに使用をやめて販売店に連絡してください。
- ⑨ サイドレール受けを持ってベッドを移動させないでください。
指定の位置を持って移動させてください。
- ⑩ モーター保護カバーは取り外さないでください。

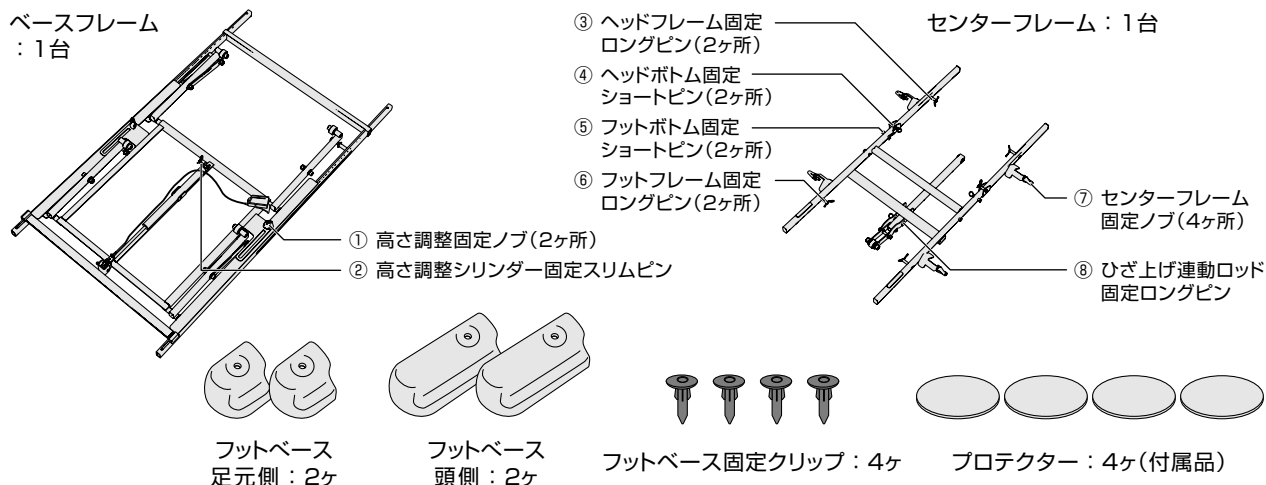
各部名称



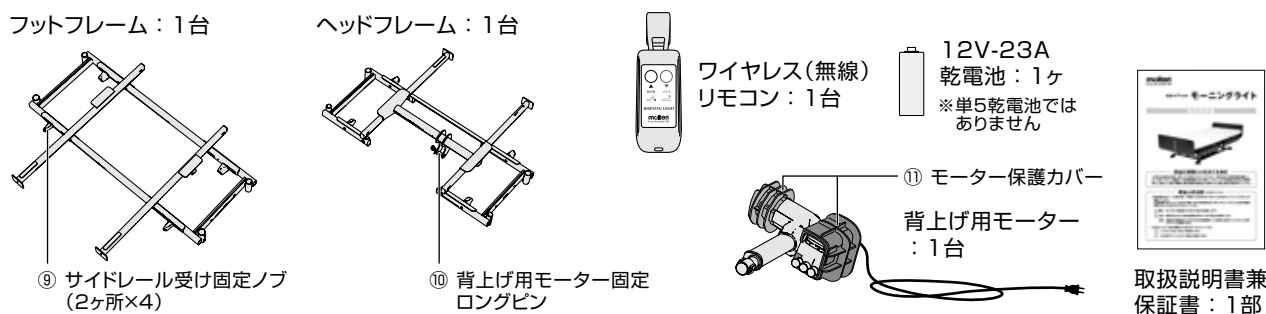
梱包内容

以下の部品が全てそろっているか、破損・変形などしていないかを確認してください。
万が一、部品の不足・破損があった場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

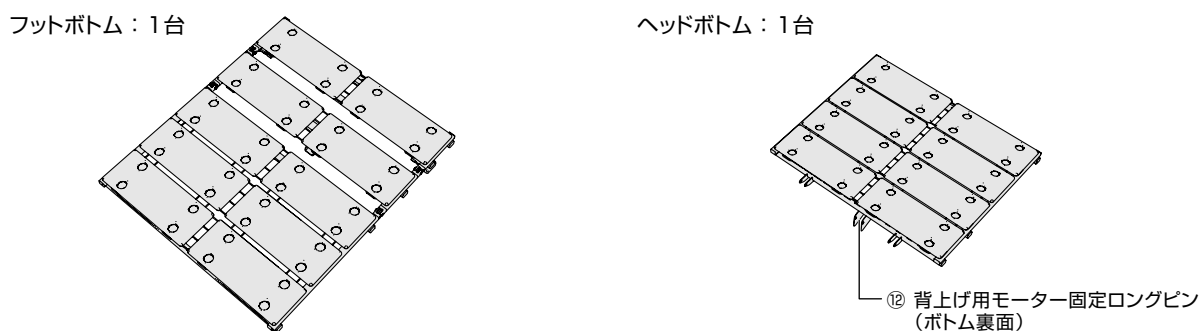
ベースフレームセット(約28.8kg)



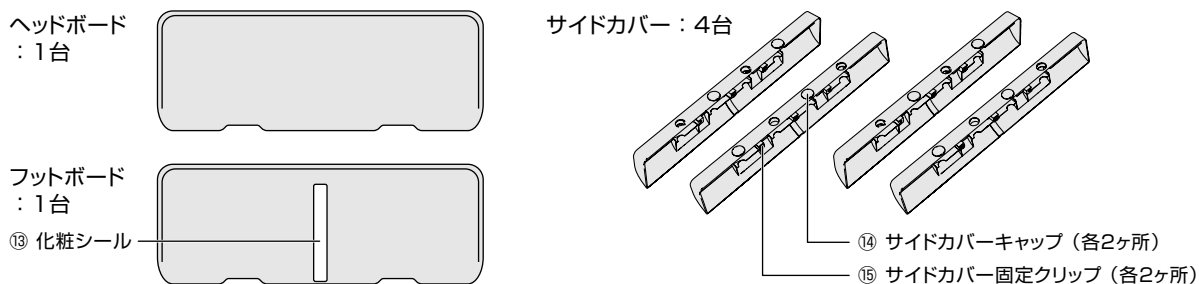
フレームセット(約20.6kg)



ボトムセット(約24.8kg)



ボードセット(約8.0kg)



慣れ親しんだ布団が使える構造

布団が敷けるベッドサイズ

ベッドのボトム(床板)は、介護ベッドよりも幅が広く、通常サイズの敷布団(幅100cm)をそのまま使用することができます。

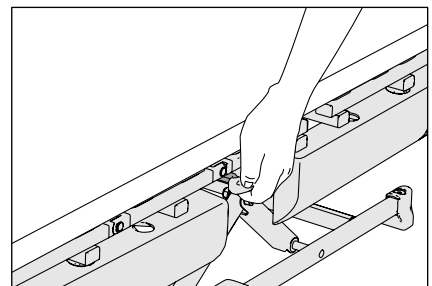
布団が直接敷けるベッドボトム(床板)

ベッドのボトム(床板)は、やわらかいスプリング性能の素材を使用しているため、この上に直接布団を敷いて使用することができます。

起き上がり・立ち上がりを楽しむ構造

手動式 無段階高さ調整

ベッドの高さは、「座る」「立ち上がる」に適した高さに「無段階」で調整できます。

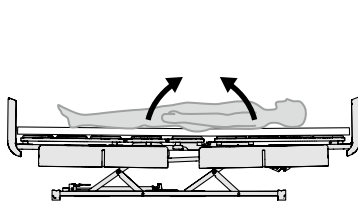


レバーを軽く握り「引き上げる」
または「押し下げる」で高さ調整

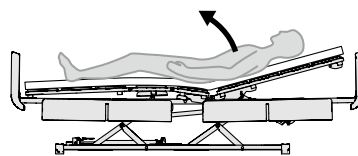
電動式 ひざ上げ・背上げ連動



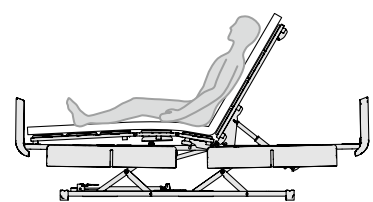
【ひざ上げ】-【背上げ】が連動し、ボタンひとつで安全なベッド操作ができます。



ひざと背が一緒に上がります。

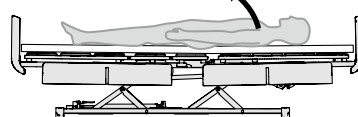


ベッドが体を起こすことで
楽に起き上がりができます。

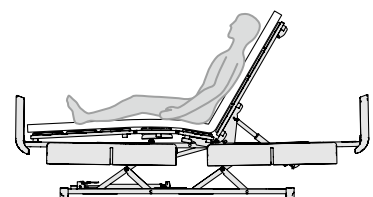


最大60度まで背を上げることができます。
ひざ上げは立ち上りの妨げにならないように
低くなっています。

ひざ上げが不要な場合は、背上げのみ
(ひざが上がらないモード)に切り替え
ができます。



背だけが上がります。



最大60度まで背を上げることができます。

角度調整 ワイヤレス(無線)リモコン操作

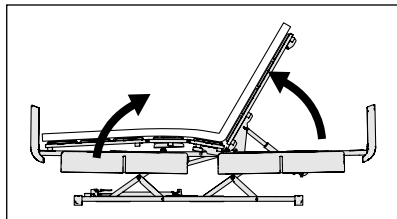
ワイヤレス(無線)リモコンによりベッドの背上げ・ひざ上げの角度が無段階で調整できます。

『あがる』『さがる』のボタンを押すと角度が変化し、離すとその位置で止まります。

角度調整は、最大60度まで調整できます。

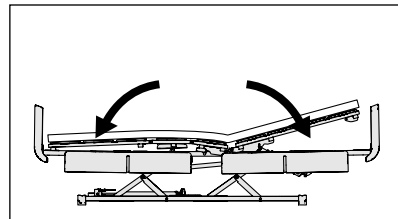
『あがる』

押している間、背上げ・ひざ上げ部が上がっていきます。



『さがる』

押している間、背上げ・ひざ上げ部が下がっていきます。



手動式 無段階高さ調整

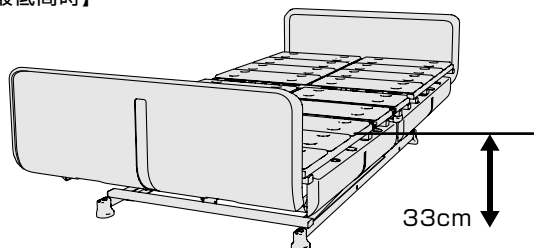
ベッド中央にあるレバーを握りながら、

【高さを下げる場合】レバーを引きながらベッドに体重を乗せて押し下げます。

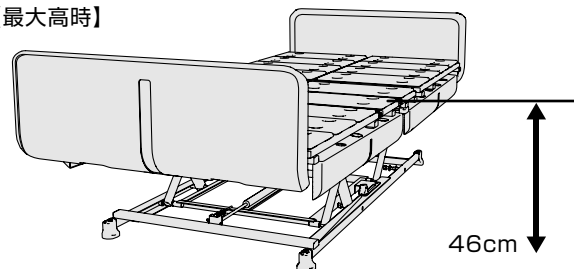
【高さを上げる場合】レバーを引きながらセンターフレームを持って引き上げます。

高さ調整は、床からボトム面の高さが約33cm～約46cmまで調整できます。

【最低高時】



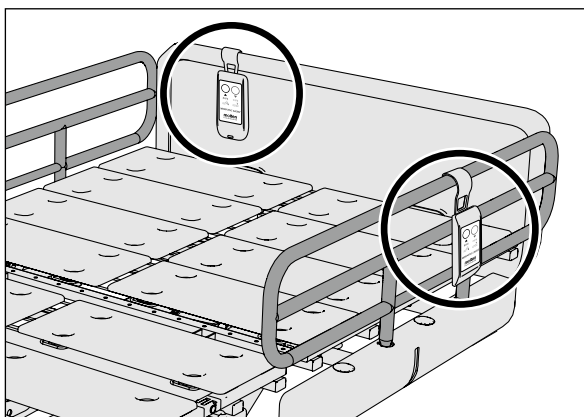
【最大高時】



警告

ボトム高さの調整を行う場合は、片手で高さ調整レバーを握り、調整してください。また、ボトムを下げる場合は、足元がベッド下に入らないよう、注意してください。

ワイヤレス(無線)リモコン位置



ワイヤレス(無線)リモコンは、ヘッドボードまたはサイドレール(別売品)に掛ける、またはトレイ(別売品)に置いてください。



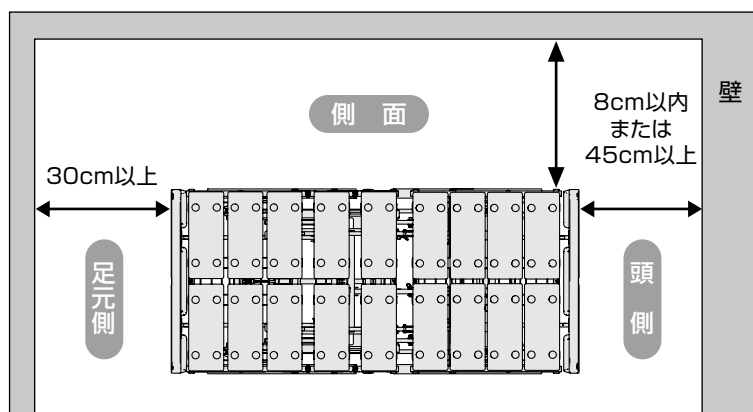
警告

- ①リモコン操作は操作が理解できる方が行ってください。
- ②リモコンは誤動作防止のため、所定の位置に置いてください。それ以外の場所に置いたり収納したりすると、誤って操作ボタンが押され、意図しないベッドの動きでケガをするおそれがあります。

設置場所

設置条件

ベッドを設置する場合は、下記の条件を考慮して設置してください。



頭側 側面

壁とヘッドボード・側面との距離を8cm以内または45cm以上離してください。

足元側

壁とフットボードとの距離を30cm以上離してください。

壁と足元側は近づけないでください。

※腕や頭部などがはさまれないように、8cm以内のすき間にしてください、身体がはさまれない45cm以上のすき間を確保してください。



注意

- ①一度組み立ててしまうと、部屋の中での移動や、向きの変更をすることが困難な場合があります。
- ②障害物には十分注意して設置してください。

①ベッドの周辺スペースを確保してください。

利用者様が乗り降りしやすいスペースがあるか、車いすをご使用の場合は、ベッドのどちら側で使用するのか、介護する方が介護を行うスペースは十分確保できるかなどを考慮してください。

また、高さを上げた場合や、背上げを行うとベッド本体の高さが高くなるので、周辺機器、家具、構造物などに当たらないように十分確認してください。

②周辺機器とのすき間を確認してください。

壁際や機器周辺に設置する場合は、それらとのすき間や周辺にある家具などとの距離(すき間)を確認してください。

仮に利用者様がそのすき間に転倒、転落した場合でもはさまれない位置に設置してください。(8cm以内または45cm以上)

また、利用者様の身体状況により転倒、転落の可能性がある場合は、使用をやめていただくか、必ず介護者の付き添いのもと、使用してください。

③水平な床面を選んでください。

④ベッドの重量は約67kgです。

ベッドと利用者様、付属品、寝具などの重量も全て合計した重量が床面にかかります。

この重量に十分耐えられる場所を選んでください。

⑤電源プラグが抜き差ししやすいところへ設置してください。

誤動作防止のため、電源プラグを抜くことが必要になる場合があります。

⑥電源は直接コンセントへつないでください。

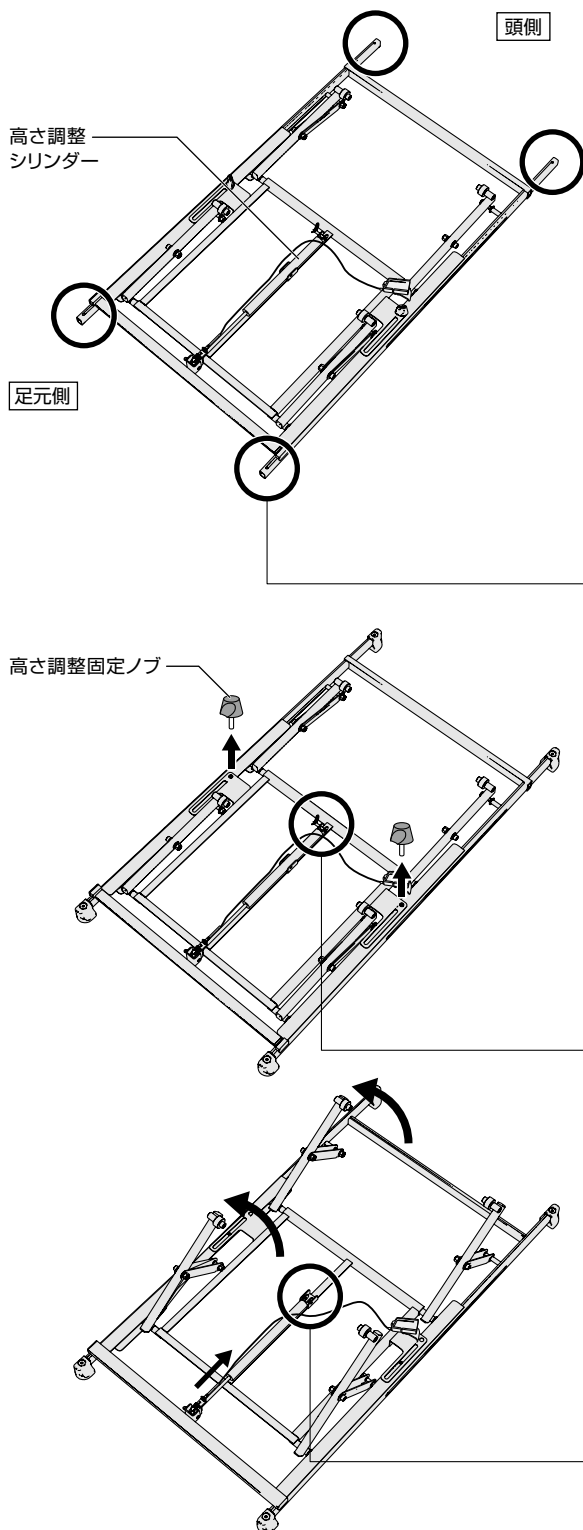
コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続したり、たこ足配線などを行うと、電源コードや電源プラグが発熱し火災のおそれがあります。

⑦冷暖房機などの冷氣・暖気がベッドに直接当たらないようにしてください。

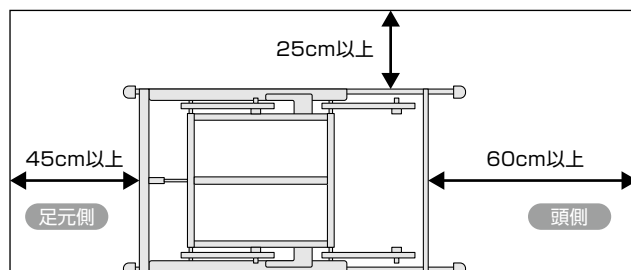
⑧ベッドの動作範囲に物が無い状態で設置してください。

※組み立て作業は販売店の方に依頼されることをお勧めいたします。

1 ベースフレームの設置



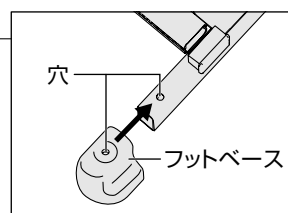
①組み立ての作業性を考慮し、下図のようなスペースを確保して作業を行ってください。



※組み立てに必要なスペースです。

②フットベースを取り付けます。

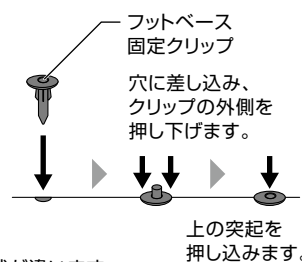
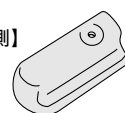
ベースフレームの先端部にフットベースをしっかり奥まで差し込み穴位置を合わせ、フットベース固定クリップを差し込みます。(4ヶ所)



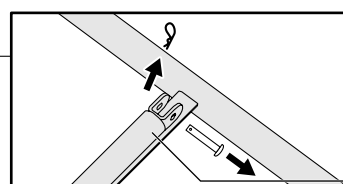
※フットベースは頭側・足元側で形状が違います。

【フットベース足元側】

【フットベース頭側】

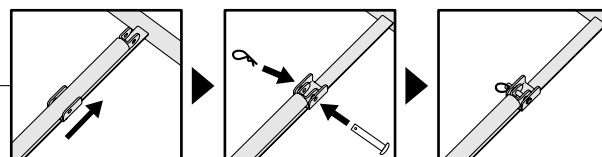


③ベースフレームの高さ調整固定ノブ(2ヶ所)と、高さ調整シリンダー固定スリムピンを外してください。



高さ調整シリンダー

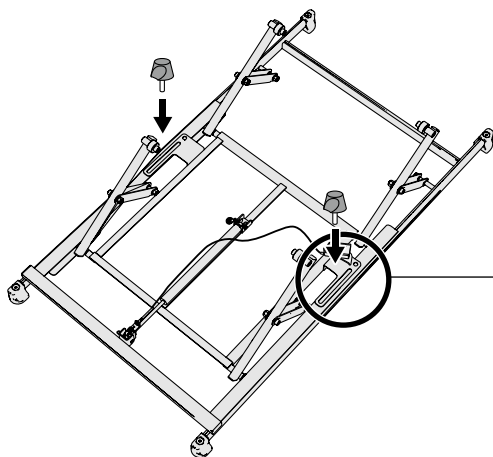
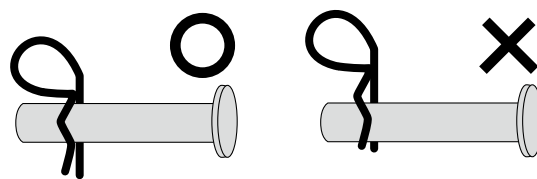
④ローラー部分を持ち上げて高さ調整シリンダーとフレームの穴の位置が合う場所で止め、③で外した高さ調整シリンダー固定スリムピンを差し込み、割ピンで固定してください。



警告 高さ調整シリンダーを固定しないで組み立てると、ベッドが急に下降し、ケガをするおそれがあります。

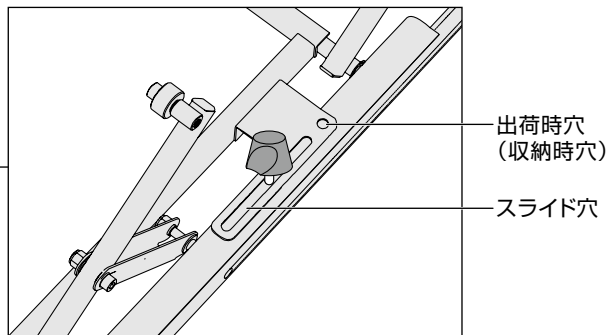
割りピンの差し込みについて

右のイラストのように奥まで割りピンを差し込んでください。
ご使用中にピンが外れケガをするおそれがあります。

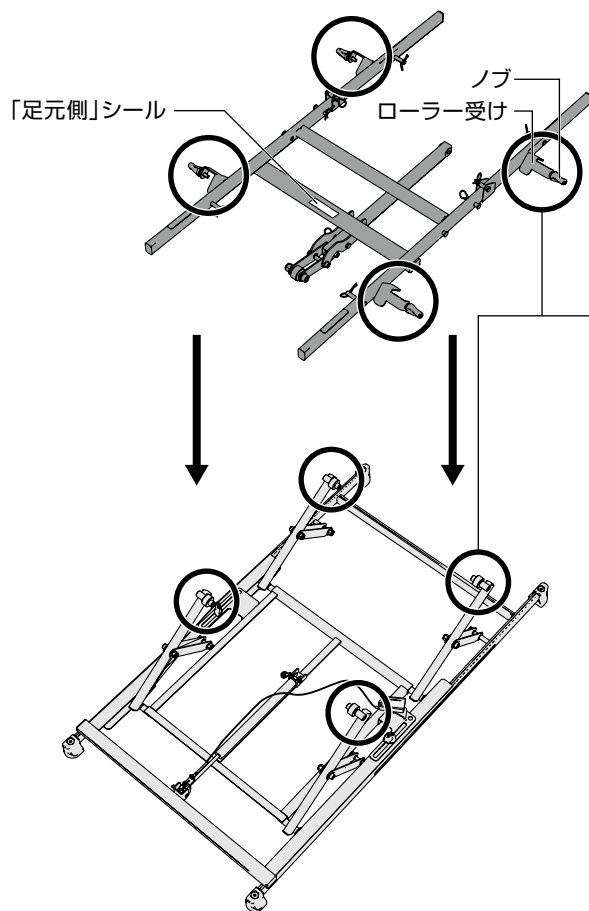


⑤③で取り外した高さ調整固定ノブを下図のスライド穴にはずれない程度に固定してください。(2ヶ所)

※高さ調整を行った後に本じめをします。(P18参照)

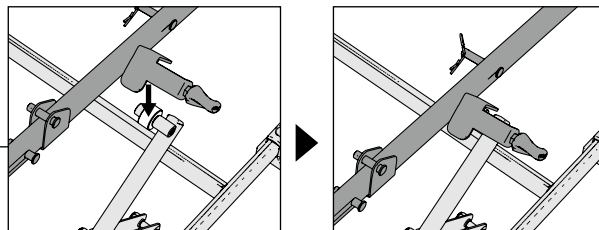


2 センターフレームの取り付け

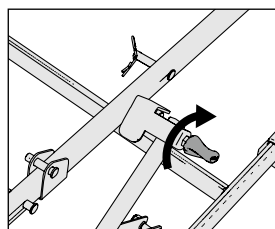


①センターフレームの向きを確認してください。
「足元側」シールの矢印を足元側に向けます。

②白いローラーの上にセンターフレームのローラー受けの部分を重ねるように置きます。



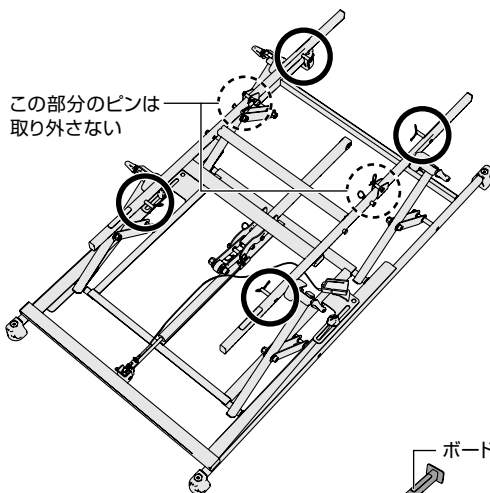
③センターフレームのセンターフレーム固定ノブ(4ヶ所)をしめて固定してください。



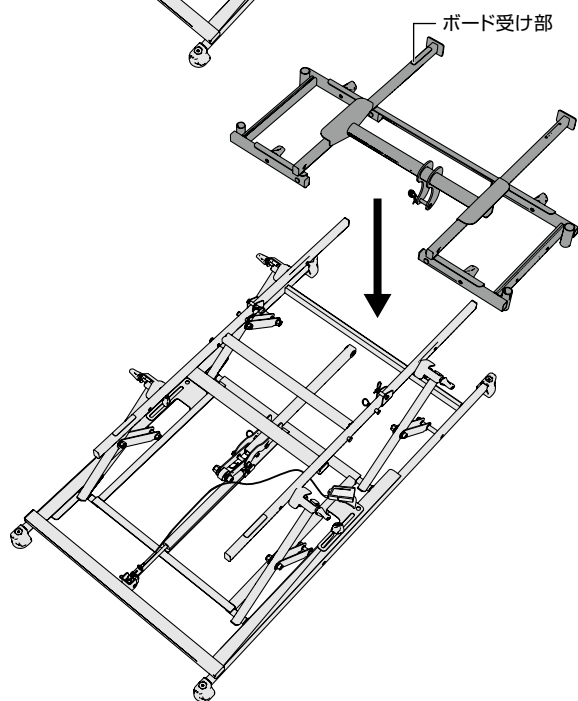
警告

センターフレームを軽く持ち上げて、ガタつきがないか確認してください。固定されていないと、フレームが外れて、ケガにつながるおそれがあります。

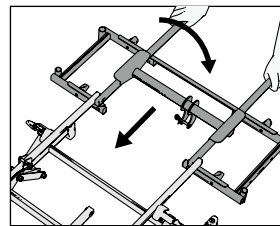
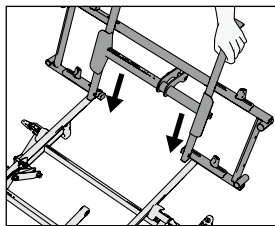
3 ヘッドフレーム・フットフレームの取り付け



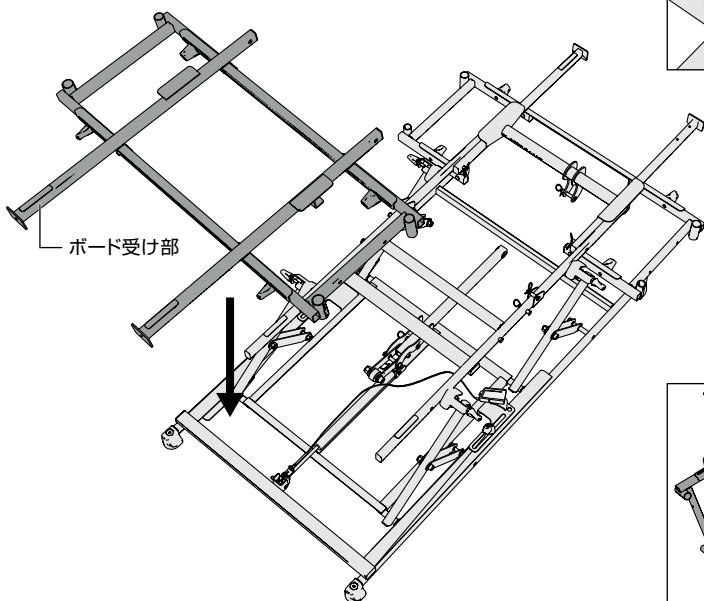
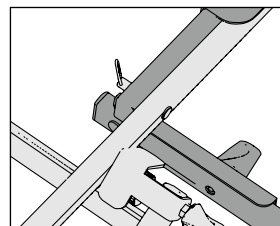
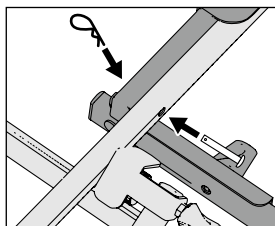
- ①センターフレームに止めてあるヘッドフレーム・フットフレーム固定ロングピン(各2ヶ所)を外してください。



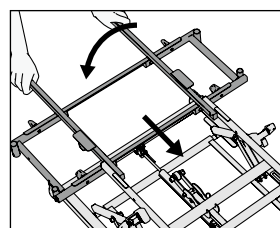
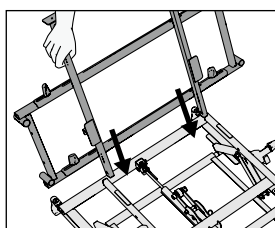
- ②ヘッドフレームを取り付けます。
ヘッドフレームのボード受け部を持ち、センターフレームの頭側に取り付けます。
センターフレームの端5cm程度の位置に立てるように置き、手前に倒しながらスライドさせて押し込みます。

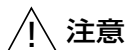


- センターフレームとヘッドフレームの穴の位置を合わせ、
①で外したヘッドフレーム固定ロングピンを差し込み、
割りピンで固定してください。(2ヶ所)



- ③フットフレームを取り付けます。
フットフレームのボード受け部を持ち、センターフレームの足元側に取り付けます。
センターフレームの端5cm程度の位置に立てるように置き、手前に倒しながらスライドさせて押し込みます。

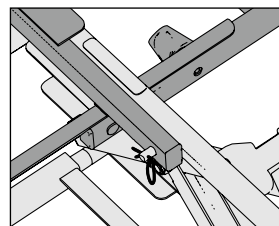
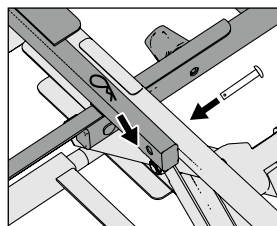




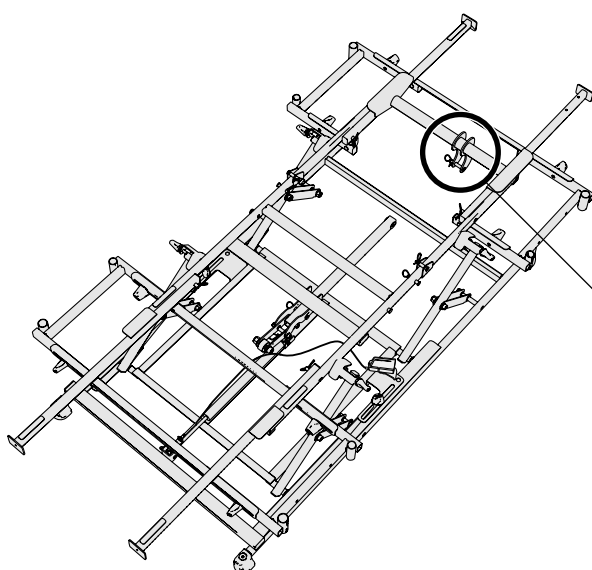
注意

ヘッドフレーム・フットフレームの固定で4本のロングピンを取り付けたことを確認してください。

センターフレームとフットフレームの穴の位置を合わせ、①で外したフットフレーム固定ロングピンを差し込み、割りピンで固定してください。(2ヶ所)



4 背上げ用モーターの取り付け

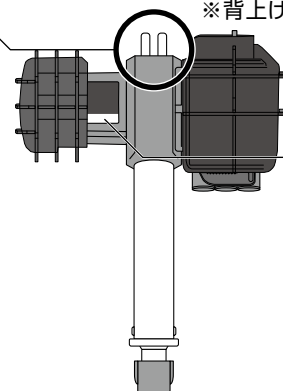


①ヘッドフレームにある背上げ用モーター固定ロングピンを外してください。

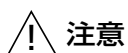
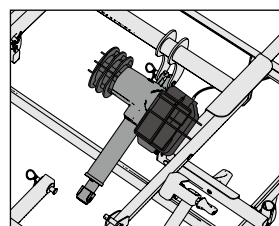
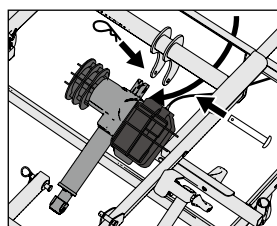
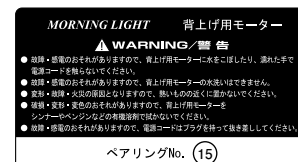
②背上げ用モーターの注意シールを上に向け、フレームの下を通してください。

背上げ用モーターを取り付け位置に合わせ、①で外した背上げ用モーター固定ロングピンを差し込み、割りピンで固定してください。

※背上げ用モーター本体側を固定します。



注意シール

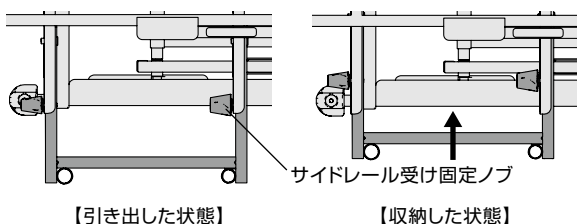


注意

- ①背上げ用モーターを取り付ける場合は、床面にキズをつけないように注意してください。
- ②電源コードはベースフレームの上に通してください。
はさみ込み防止のため、ヘッドフレームの下には通さないでください。
- ③モーター保護カバーは取り外さないでください。

5 サイドレール受けの調整

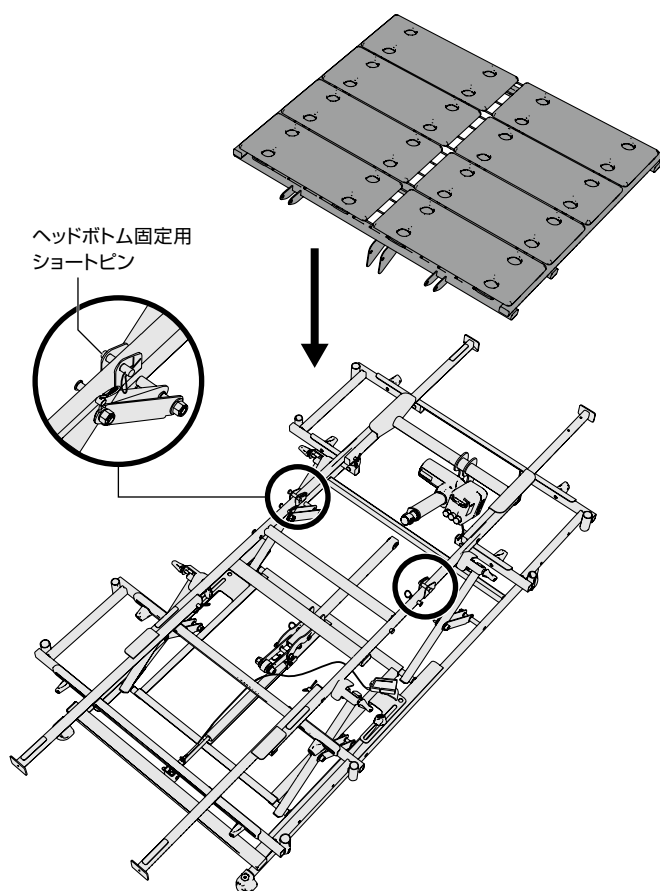
【上から見た図】



サイドレールを使用しない場合は、サイドレール受けを収納してください。

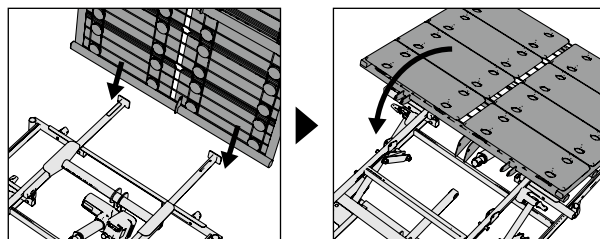
- ① サイドレール受け固定ノブをゆるめて、サイドレール受けを収納してください。
- ② サイドレール受け固定ノブをしめて固定してください。

6 ヘッドボトム取り付け

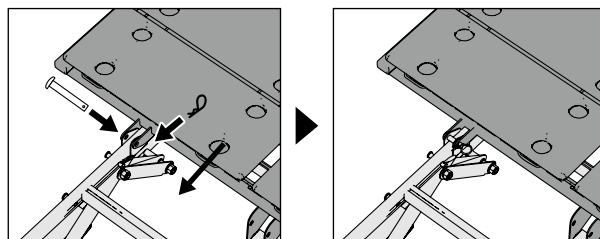


- ① センターフレームにあるヘッドボトム固定用ショートピンを外してください。(2ヶ所)

- ② ヘッドボトムの頭側をヘッドフレームのヘッドボード受けに乗せ、足元側に倒しながら置きます。

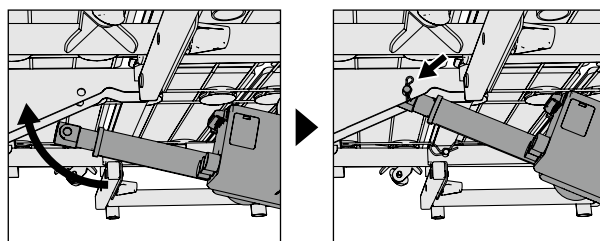


- ③ ヘッドボトムをヘッドフレームの取り付け位置までスライドさせ、①で外したヘッドボトム固定用ショートピンを差し込み、割りピンで固定してください。



- ④ ヘッドボトムにある背上げ用モーター固定ロングピンを外してください。

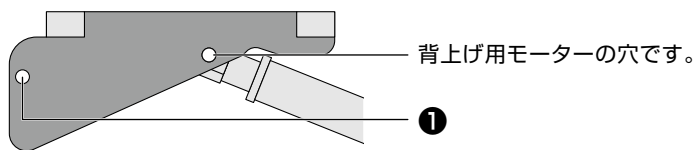
- ⑤ 背上げ用モーターの先端をヘッドボトムの固定位置に合わせ、④で外した背上げ用モーター固定ロングピンを差し込み、割りピンで固定してください。



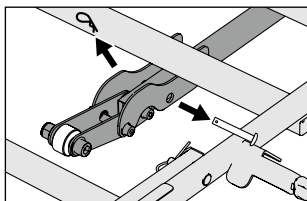
7 ひざ上げ連動ロッドの取り付け

ひざ上げ連動ロッド取り付け位置

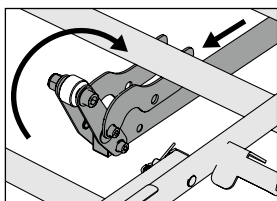
- ① 背上げひざ上げ連動(ひざ上げ保持)
 - ② ひざ上げなし
- の2パターンが選べます。



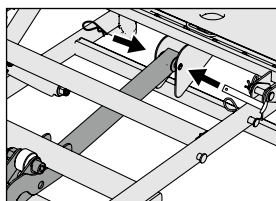
ひざ上げ・背上げ連動／ひざ上げ連動ロッドを①の穴に取り付けるとひざ上げ・背上げが連動します。



① ひざ上げ連動ロッド固定ロングピンを外してください。



② 白いローラーを上側へ引き上げ、フレームに当たるまで倒します。

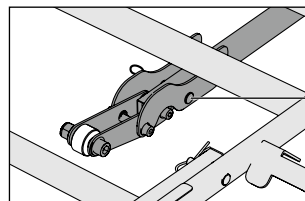
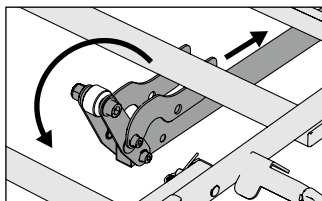
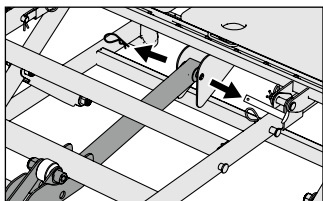


③ ひざ上げ連動ロッドの先端をヘッドボトムの背上げ用の穴の位置に合わせ、①で外したひざ上げ連動ロッド固定ロングピンを差し込み、割りピンで固定してください。

ひざ上げなし／ひざ上げ連動ロッドを連結する必要はありません。

ひざ上げ連動ロッドの白いローラーが下がり、ひざ上げ連動ロッド固定ロングピンが取り付けられている状態で使用してください。

ひざ上げ・背上げ連動からひざ上げなしに変更する場合は、ひざ上げ連動ロッドの先端とヘッドボトムを接続しているひざ上げ連動ロッド固定ロングピンを外し、白いローラーを下に下げます。取り外したピンはローラー部の穴に取り付けてください。

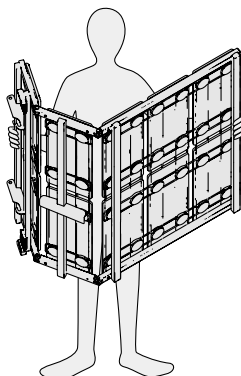


ひざ上げ連動ロッド
固定ロングピン

8 フットボトムの取り付け

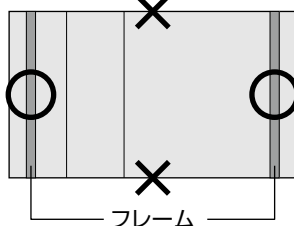


注意

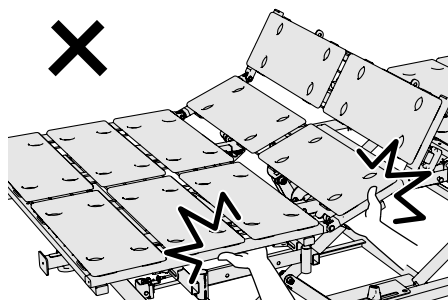


フットボトムを持ち運ぶ場合は、左図のように裏面両端のフレームを持って運んでください。ボトムのサイド側を持つと、フレームにはさまれケガをするおそれがあります。

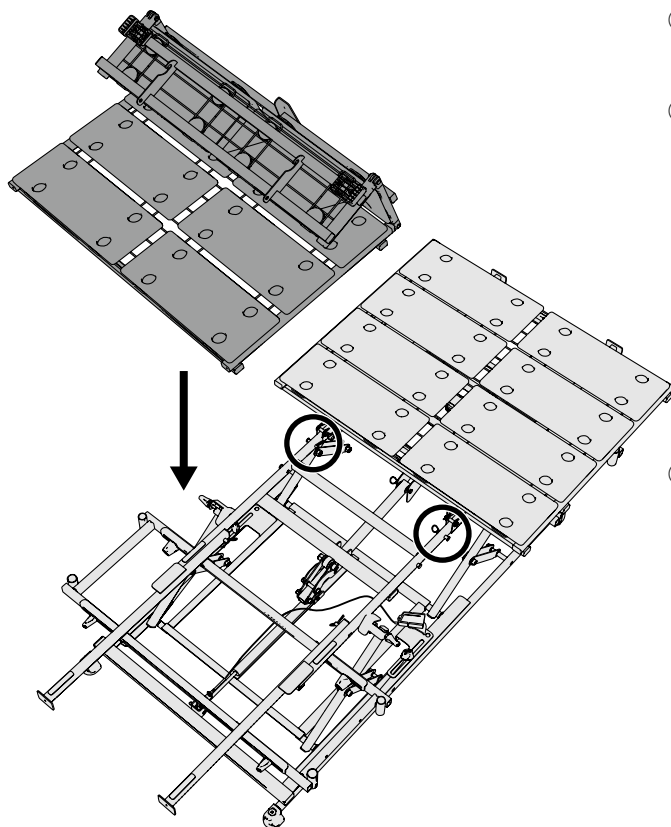
【裏面】



フレーム

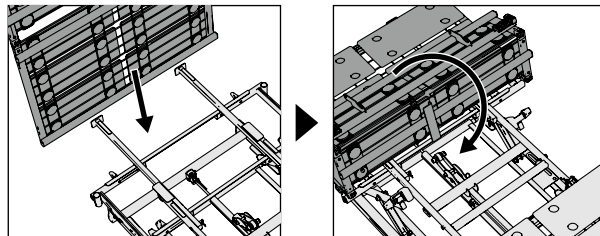


組立方法

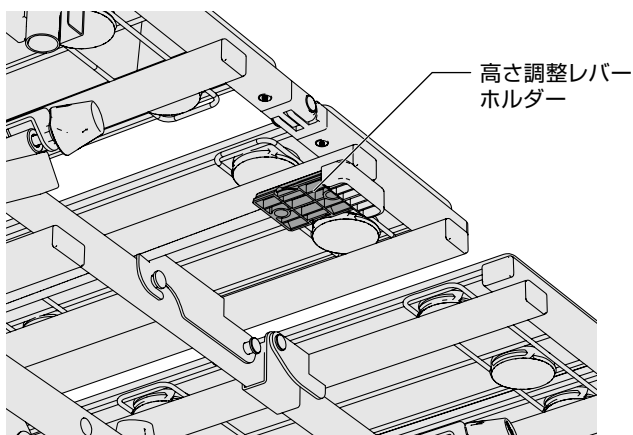
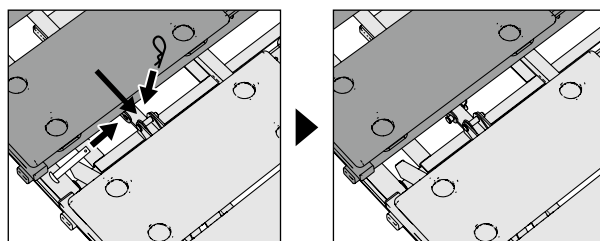


①センターフレームにあるフットボトム固定ショートピンを外してください。

②フットボトムの足元側をフットフレームのボード受けに乗せ、足元側先端まで寄せ、頭側に倒しながら置きます。

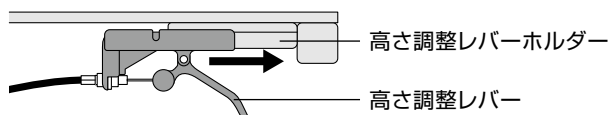


③フットボトムをヘッドフレームの取り付け位置までスライドさせ、①で外したフットボトム固定ショートピンを差し込み、割りピンで固定してください。

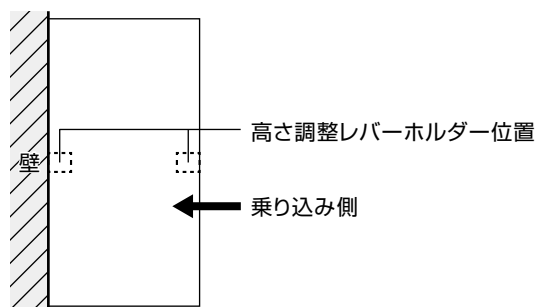


高さ調整レバーホルダー

④高さ調整レバーをレバーホルダーに取り付けます。

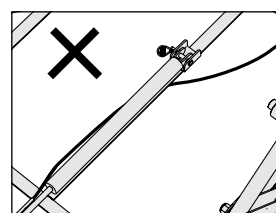
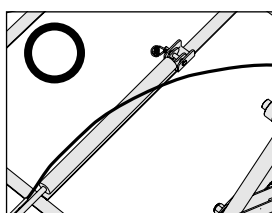


※高さ調整レバーは、乗り込み側に取り付けてください。
下図の例ですと、右側のホルダーに取り付けます。



警告

高さ調整レバーのワイヤーは必ず高さ調整シリンダーの上を通してください。
※下を通すと、フレームにはさまれ、破損や断線のおそれがありますので十分注意してください。

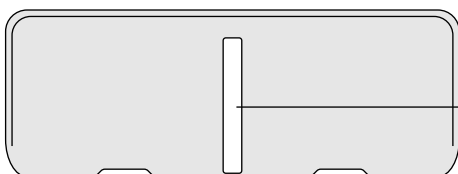


9 ヘッドボード・フットボードの取り付け

【ヘッドボード】

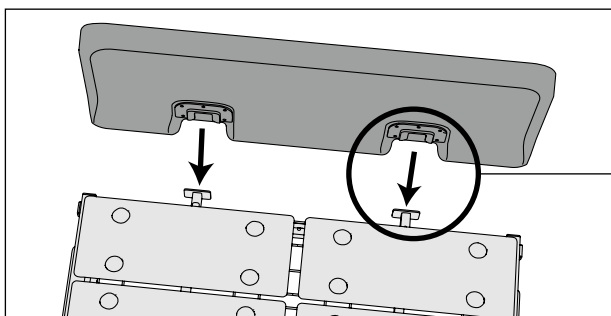


【フットボード】

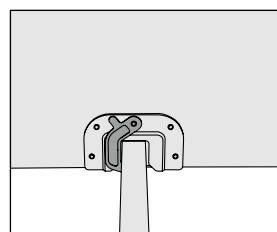
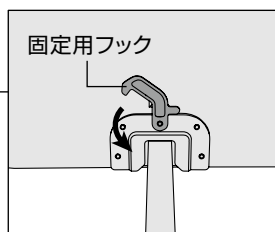


①取り付け位置を確認します。

フットボードには化粧シールが貼ってあります。

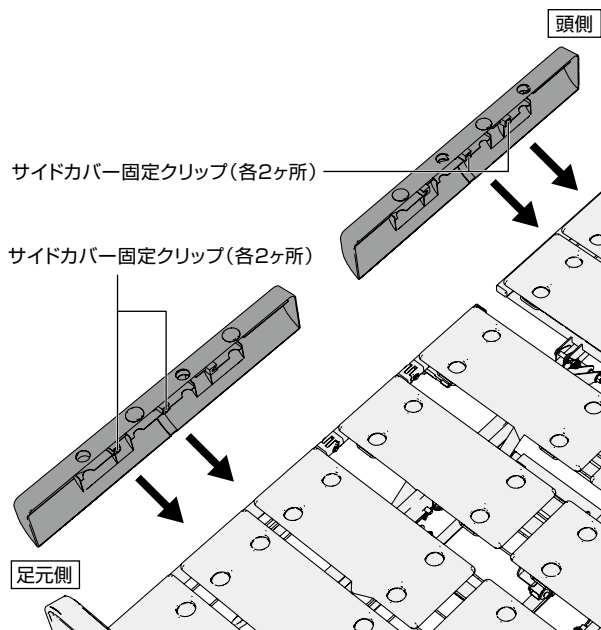


②ボードをフレームに差し込み、固定用フックを回転させてフレームに固定してください。

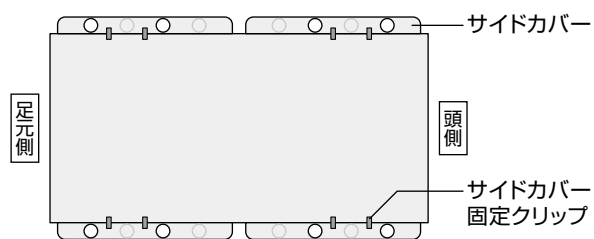


警告 ヘッドボードやフットボードは固定フックを必ずかけてください。

10 サイドカバーの取り付け



サイドカバーの穴を上に向け、内側のサイドカバー固定クリップをサイドレール受けの穴の位置に合わせ、差し込んでください。

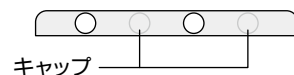


※サイドレールを使用しない場合は、サイドレール受けを収納してください。(P14参照)

※サイドカバー内側シールの矢印に合わせて取り付けてください。



警告 サイドカバーのキャップを外してサイドレールを取り付けしないでください。サイドレールが外れケガや事故、破損の原因になります。

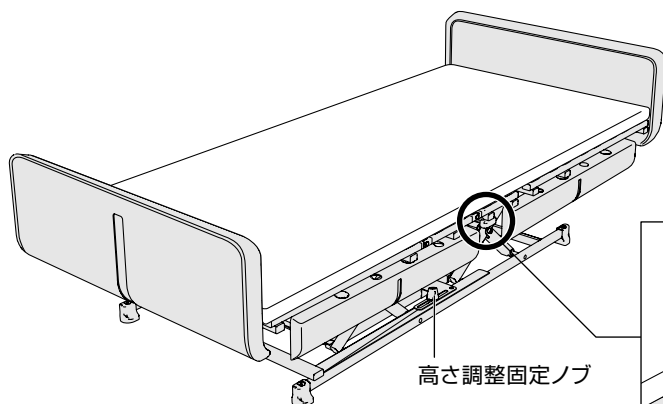


高さ調整方法

手動式 無段階高さ調整

使用する布団またはマットレスを置いて行います。

ベッドの高さは、「座る」「立ち上がる」に適した高さに“無段階”で調整できます。

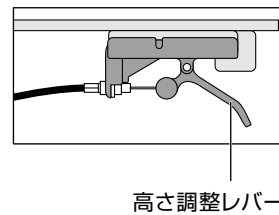
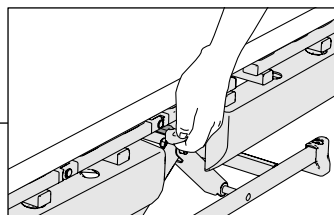


①高さ調整固定ノブをゆるめてください。

②レバーを握り、高さ調整を行います。

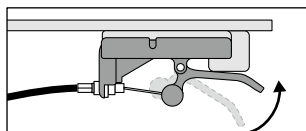
レバーの握りの強さで調整速度が変わります。

強くレバーを握ると速く、軽く握るとゆっくり昇降します。

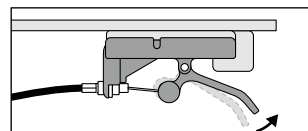


高さ調整レバー

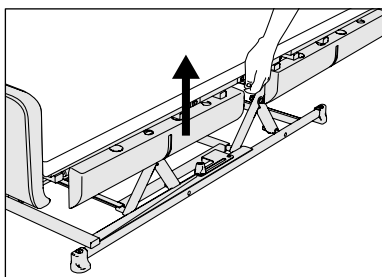
【速く昇降させる場合】



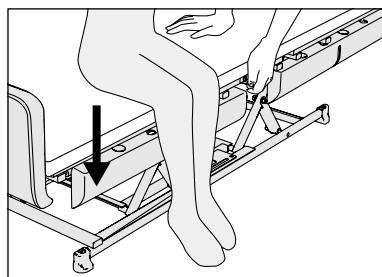
【ゆっくり昇降させる場合】



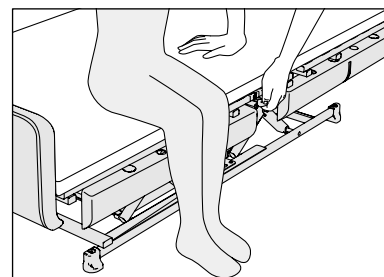
【ベッド高さ調整方法】



ベッドの高さを最大まで上げます。



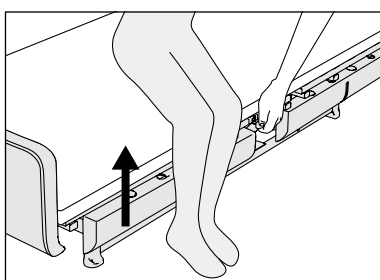
利用者様が座った状態で、立ち上がりやすい高さになるまで下げます。
下がりにくい場合は、ベッドを上から押しながらレバーを握ります。



【下がりすぎた場合】

利用者様の腰を少し浮かせた状態で高さを上げ、再調整します。

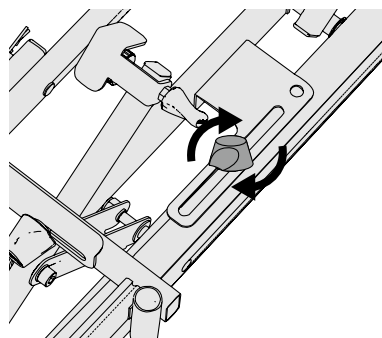
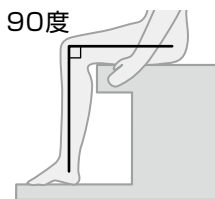
利用者様が座ったままでは上昇させることはできません。



立ち上がりやすい
高さの目安

ひざの角度が90度になる高さから+5cm程度

90度



③高さ調整が終わったら、ゆるめていた高さ調整固定ノブをしっかりとめてください。(2ヶ所)



警告

①高さ調整後は、ベッドの急な降下やベッド本体のグラつき防止のため、高さ調整固定ノブを確実にしめてください。

②ボトム高さの調整を行う場合は、片手で高さ調整レバーを握り、調整してください。また、ボトムを下げる場合は、足元がベッド下に入らないよう、注意してください。

角度調整方法

- ① 背上げ用モーターの電源がコンセントに接続されていることを確認して行ってください。
- ② ワイヤレス(無線)リモコンと背上げ用モーターのペアリングNo.が一致していることを確認してください。(P20参照)

ワイヤレス(無線)リモコンの使い方

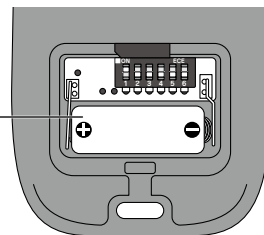
1 電池の取り付け

ワイヤレス(無線)リモコンに電池を入れます。

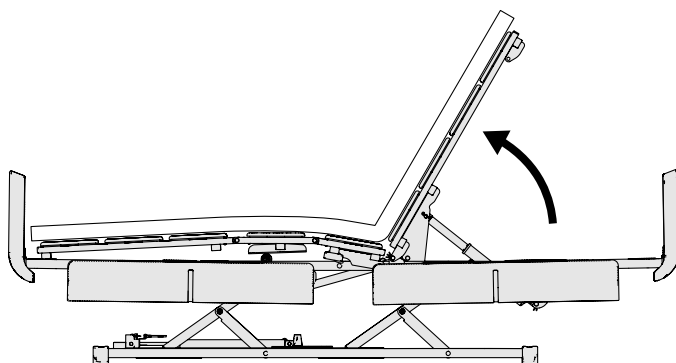
※ 12V-23Aの乾電池を使用します。単5乾電池は使用できません。
(P20参照)

【リモコン裏面カバー内】

12V-23A乾電池

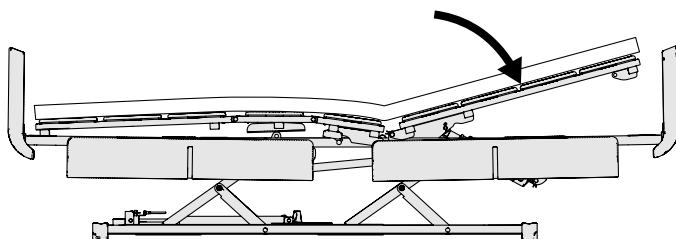
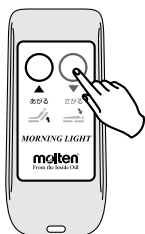


2 背上げ



ワイヤレス(無線)リモコンの『あがる』ボタンを押すと背上げが始まります。
ボタンを離すと止まります。

3 背下げ



ワイヤレス(無線)リモコンの『さがる』ボタンを押すと背下げが始まります。
ボタンを離すと止まります。



警告

背上げ・背下げ動作を止めたい場合は、ワイヤレス(無線)リモコンの操作ボタンから手を離してください。
ベッドの可動部にはさまれたり圧迫され、ケガをするおそれがあります。

ワイヤレス(無線)リモコンの乾電池について

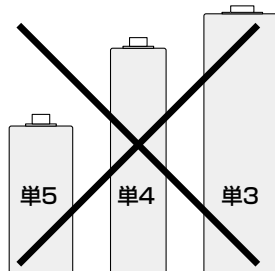
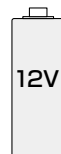
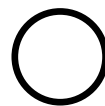
ワイヤレス(無線)リモコン用乾電池について

ワイヤレス(無線)リモコンは12V-23A乾電池を使用します。

お近くの家電量販店でお買い求めください。

なお、単5乾電池は使用できません。

※12V-23A乾電池は単5乾電池よりも少し小さいです。

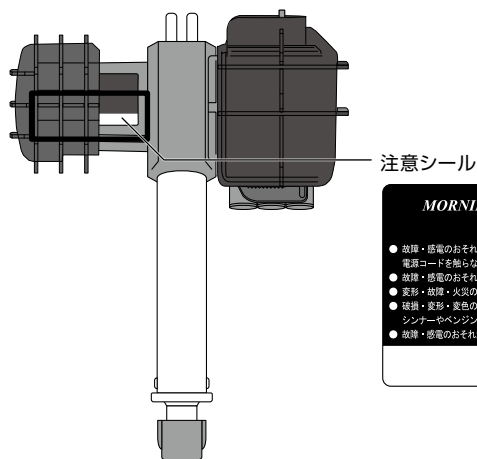


ペアリングNo.の確認方法

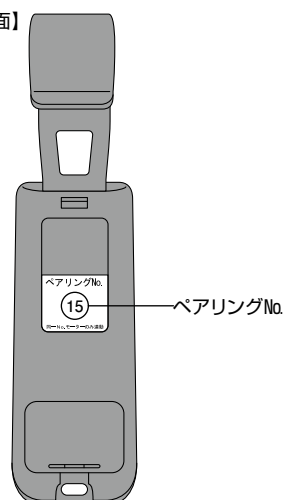
本製品は、ワイヤレス(無線)リモコンと背上げ用モーターのペアリングNo.が一致しないと作動(通信)しません。
ペアリングNo.は1～64のパターンがあります。

製品出荷時は、ワイヤレス(無線)リモコン・背上げ用モーターとも下記のように表示してペアリングしています。

【背上げ用モーター側注意シール】



【ワイヤレス(無線)リモコン背面】



製品のワイヤレス(無線)リモコンと背上げ用モーターのペアリングNo.が一致しない場合は、(株)モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご連絡ください。

ワイヤレス(無線)リモコンや背上げ用モーターを紛失または破損し、購入される場合は、注文時にペアリングNo.をご指定ください。

ペアリングNo.を設定し、販売させていただきます。



警告

ペアリングNo.が同じ製品を近くで使用すると同時に作動することがあります。

ペアリングNo.が同じ製品を近くで使用しないでください。

同時に作動すると思わぬ事故やケガにつながるおそれがあります。

株式会社 モルテン 健康用品事業本部 お客様窓口
TEL(082)842-9975

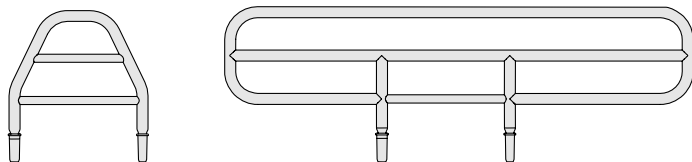
〈電話による受付時間〉月曜日～金曜日／9:00～17:00 ※祝祭日、年末年始、ゴールデンウィーク、夏季休業日など弊社休業日を除く

サイドレール(別売品)およびトレイ(別売品)の取り付け方法

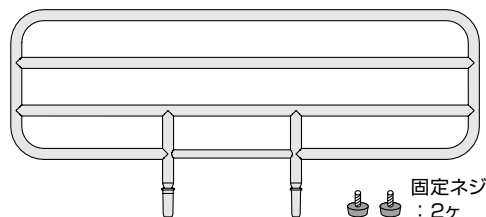
サイドレールの取り付け方法(別売品)

サイドレールをサイドレール受けの取り付け穴に差し込んでください。

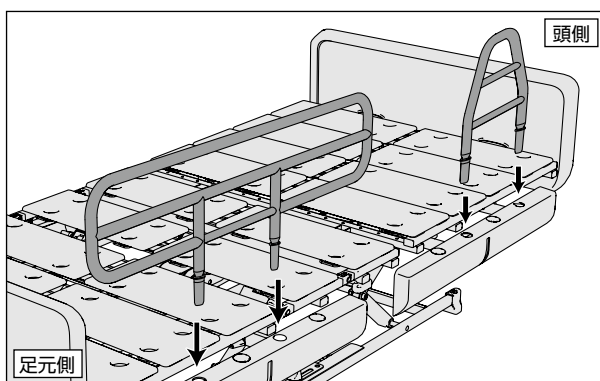
【品番：MMLTSRS】 【品番：MMLTSRL】



【品番：MMLTSRLH(Hタイプ)】

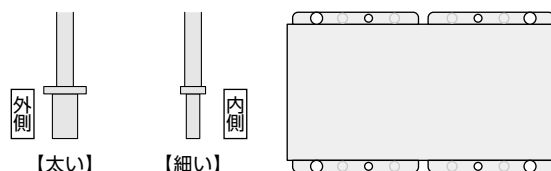


※Hタイプは固定ネジで固定してください。



警告

サイドレール受け・サイドレールは、軸が太い方がボード側にくるよう取り付けてください。

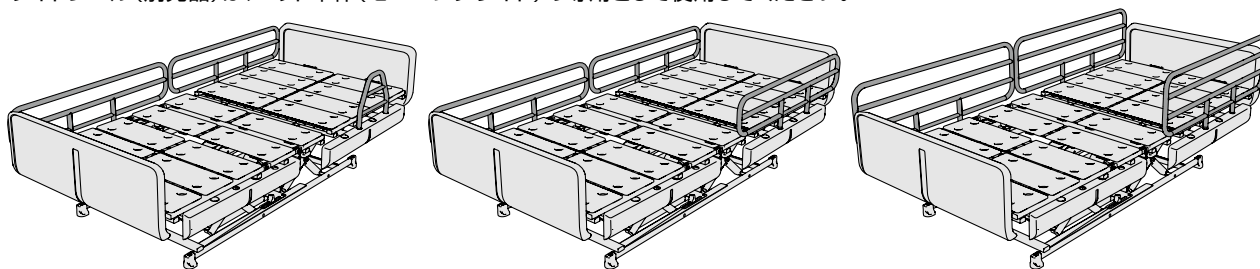


注意 サイドレールは、サイドレール受けに取り付けて使用してください。

より安全に使用するためのモーニングライトとサイドレール(別売品)の組み合わせ

組み合わせ例

サイドレール(別売品)は、ベッド本体(モーニングライト)の専用として使用してください。

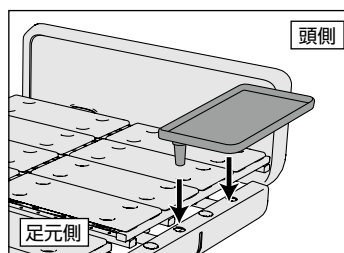


※使用方法の詳細は、各取扱説明書でご確認ください。

トレイの取り付け方法(別売品)

トレイをサイドレール受けの取り付け穴に差し込んでください。

※トレイ耐荷重：1kg



注意

耐荷重を超える物を置かないでください。また、トレイからはみ出した状態で物を置かないでください。ベッドの動作時に接触し、破損などをおそれがあります。

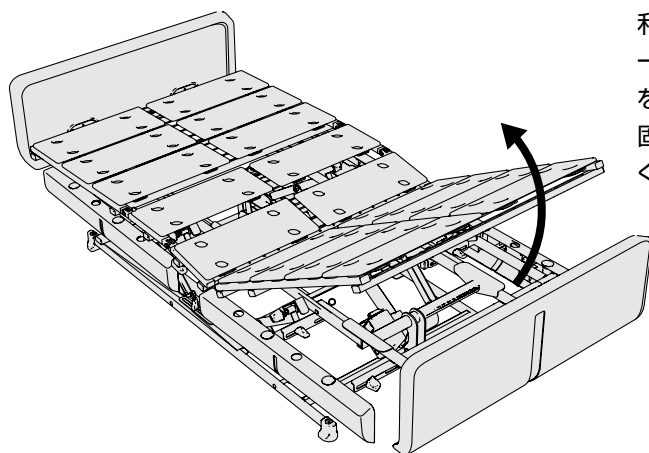
警告 トレイにもたれかかったり、座ったりしないでください。トレイが破損して転落・転倒し、ケガをするおそれがあります。

緊急時の背下げ方法

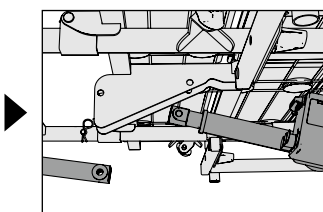
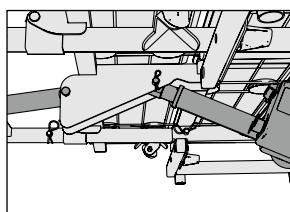
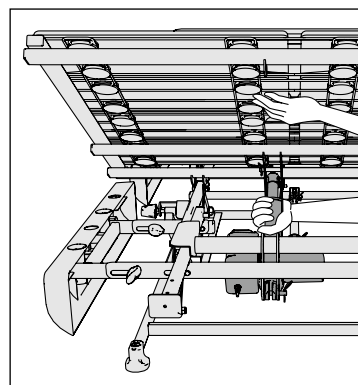
停電時や故障などで背下げできないときは、以下の方法で背下げしてください。

※この作業は必ず2名以上で行ってください。作業する場合は、電源プラグを必ず抜いてください。

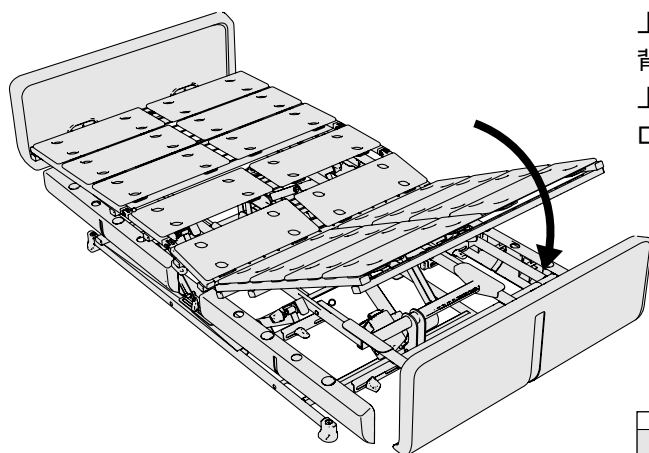
背下げ方法



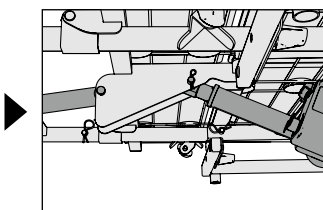
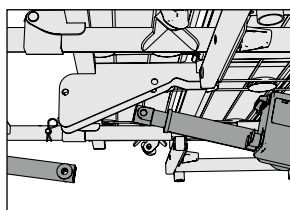
利用者様と寝具をベッドから移動させてください。
一人の方がヘッドボトムを手で持ち上げ、背上げ用モーターを支えてください。もう一人の方がひざ上げ連動ロッド固定ロングピンと背上げ用モーター固定ロングピンを外してください。



再接続方法



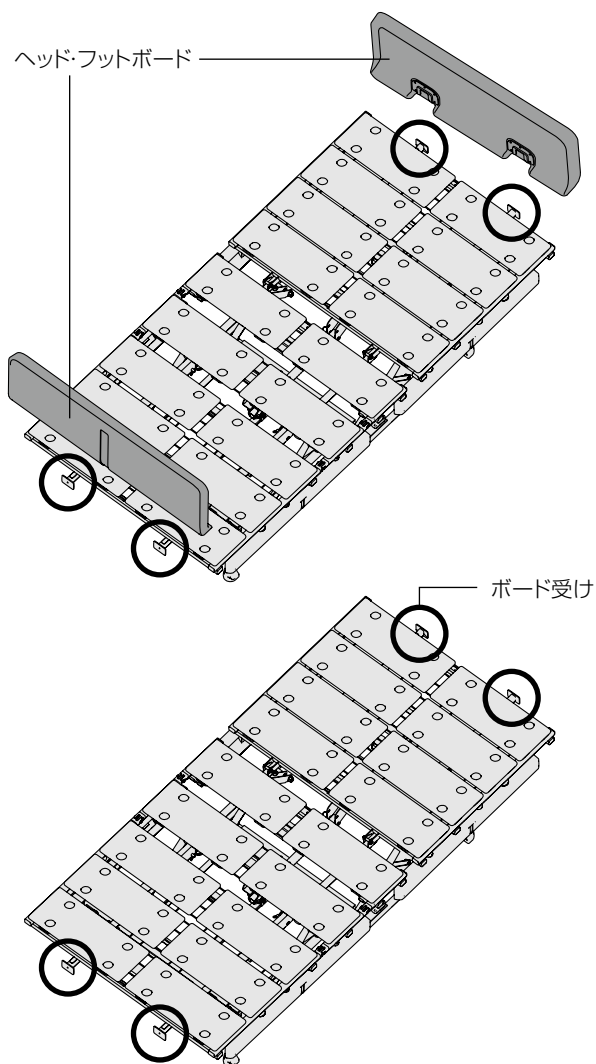
上記と同様に一人の方がヘッドボトムを手で持ち上げ、背上げ用モーターを支えてください。もう一人の方がひざ上げ連動ロッド固定ロングピンと背上げ用モーター固定ロングピンを差し込み、割りピンで固定してください。



組立後の移動

ベッドを組み立て後、移動させたい場合は以下の方法で移動させてください。

※この作業は必ず2名以上で行ってください。作業する場合は、電源プラグを必ず抜いてください。



移動させたい場所のスペースを確認してください。
(設置場所についてはP9を参照してください)
電源プラグはコンセントから抜いてください。
電源コードやワイヤレス(無線)リモコンは、移動させる場合にキズがつかないように注意してください。

利用者様と寝具・マットレスを、ベッドから移動させてください。
トレイ・サイドレール、ヘッド・フットボードを外してください。

ヘッド・フットボード受けをそれぞれ両手で持ち、移動させてください。このとき、ベッドを引きずらないように注意してください。



警告

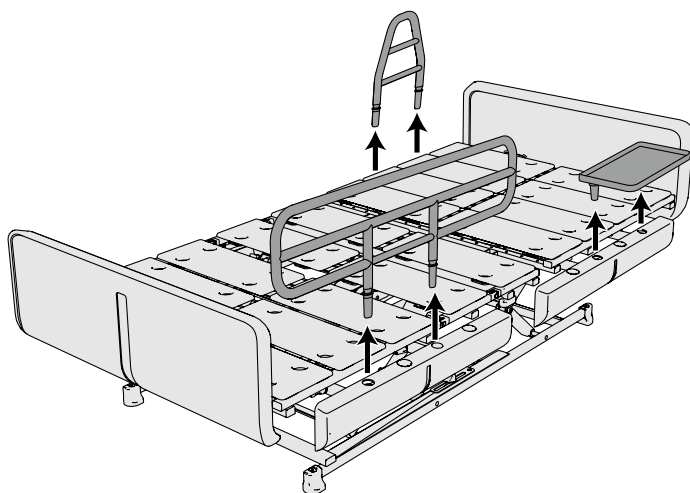
- ①ヘッド・フットボード受け以外の部分は持たないでください。
部品が外れてケガをするおそれがあります。
- ②必ず持ち上げて移動してください。
引きずるとフットベースが外れるおそれがあります。

※この作業は販売店の方に依頼されることをお勧めいたします。

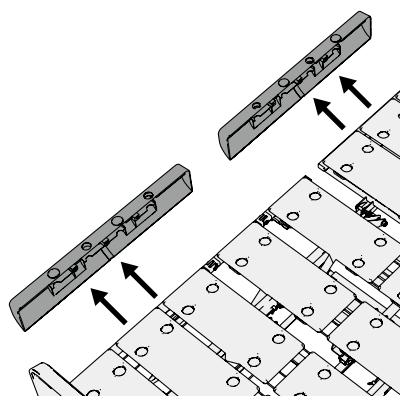
分解するときは、ベッドの高さを一番低い位置にし、電源プラグをコンセントから抜いた状態で作業を行ってください。

部品の破損や部品が落下してケガをするおそれがあります。

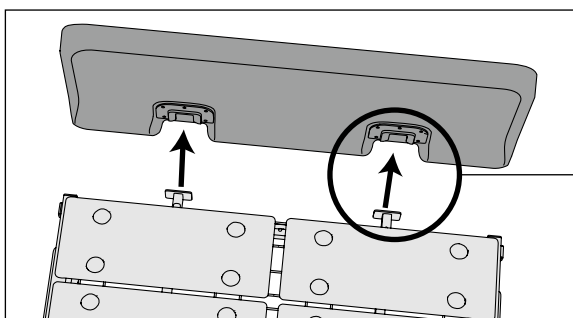
1 寝具、マットレス、および周辺パーツの取り外し



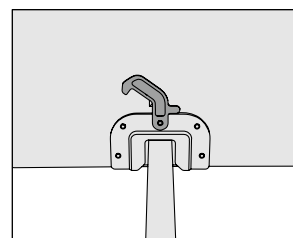
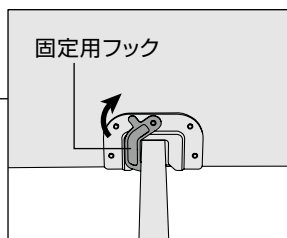
寝具類、マットレス、トレイ、サイドレールを取り除き、サイドカバーを取り外してください。



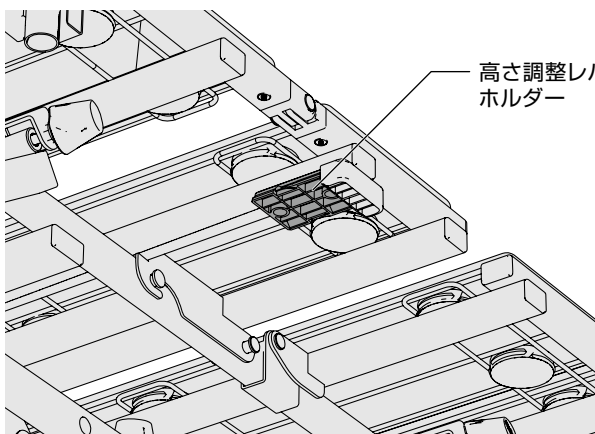
2 ヘッドボード・フットボードの取り外し



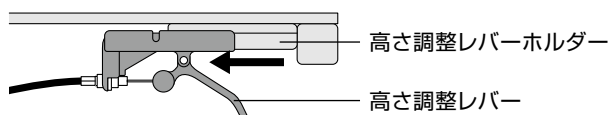
フレームの固定用フックを回転させて固定を解除し、ボードを取り外してください。



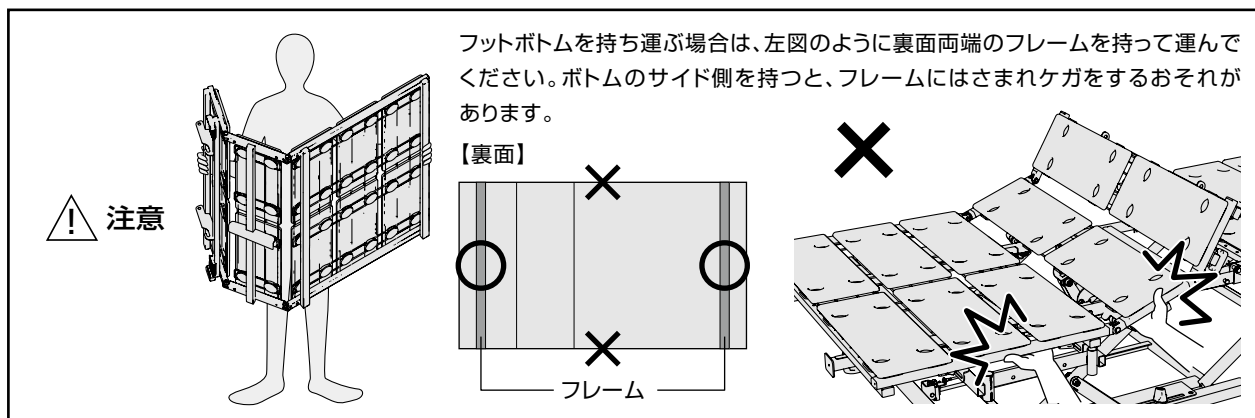
3 フットボトムを取り外し



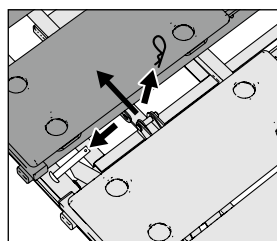
①高さ調整レバーをレバーホルダーから取り外します。



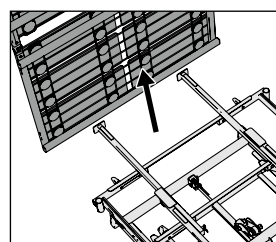
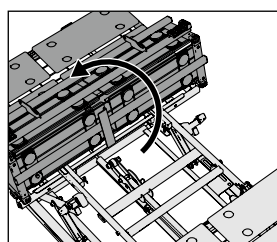
分解方法



- ② フットボトムとセンターフレームを固定しているフットボトム固定ショートピンを外してください。

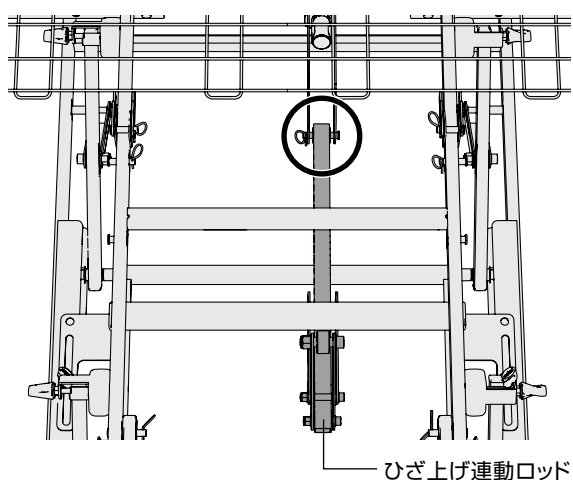


- ③ フットボトムの頭側を持ち、足元側に起こしながら取り外します。



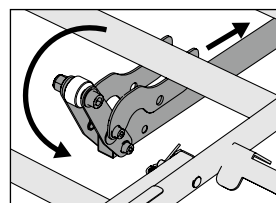
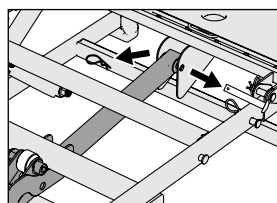
- ④ 抜いたピンは紛失防止のため、センターフレームの元のに取り付けてください。

4 ひざ上げ連動ロッドの取り外し

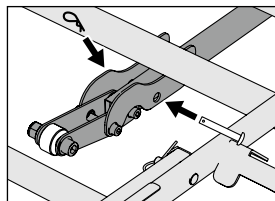


- ① ひざ上げ連動ロッドとヘッドボトムを固定しているひざ上げ連動ロッド固定ロングピンを取り外してください。

- ② 白いローラーを下側へ引き下げ、フレームに当たるまで倒します。

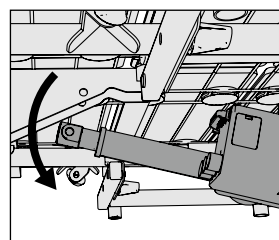
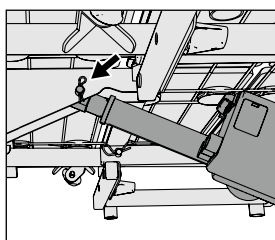


- ③抜いたピンは紛失防止のため、ひざ上げ連動ロッドのローラー部の穴に取り付けてください。

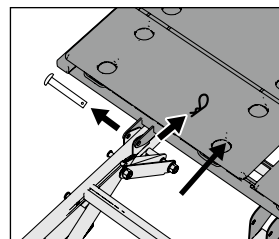
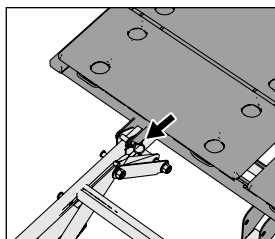


5 ヘッドボトムを取り外し

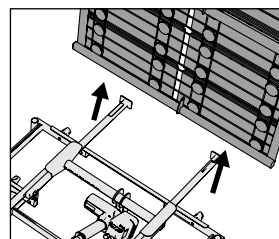
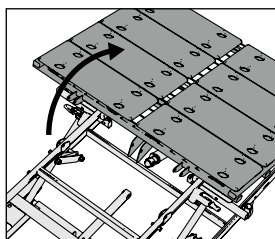
- ①背上げ用モーターとヘッドボトムを固定している背上げ用モーター固定ロングピンを外してください。



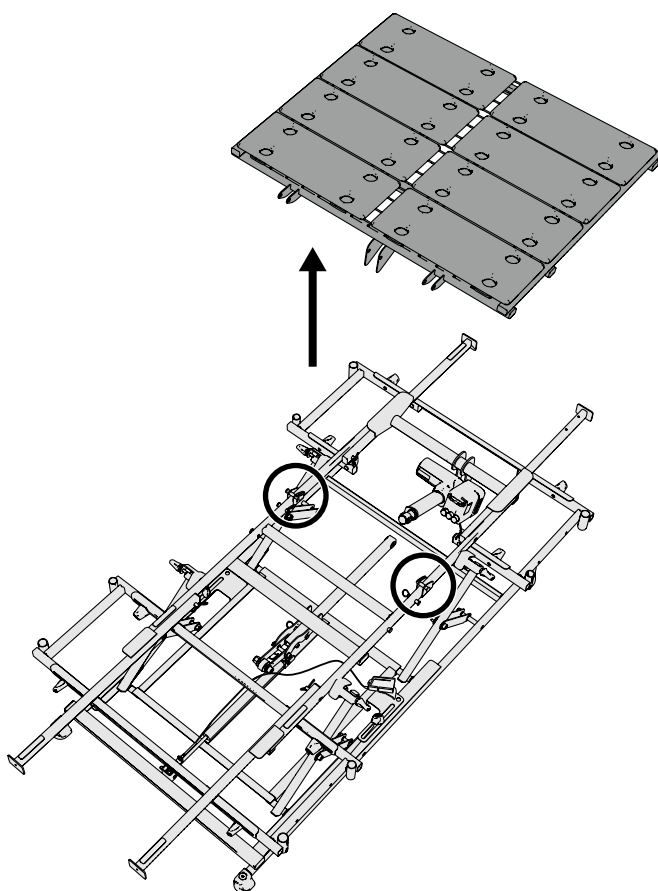
- ②ヘッドボトムとヘッドフレームを固定しているヘッドボトム固定用ショートピンを外してください。



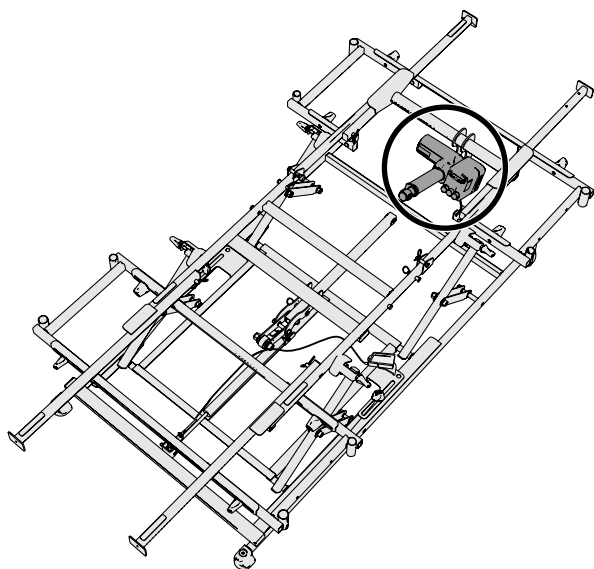
- ③ヘッドボトムの頭側を持ち、足元側に起こしながら取り外します。



- ④抜いたピンは紛失防止のため、ヘッドフレームの元の穴に取り付けてください。

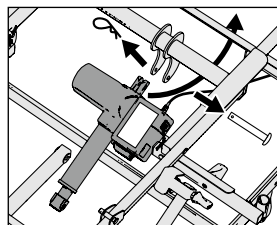


6 背上げ用モーターの取り外し



①ヘッドフレームと背上げ用モーターを固定している背上げ用モーター固定ロングピンを外してください。

②背上げ用モーターをフレームの下を通して取り外してください。



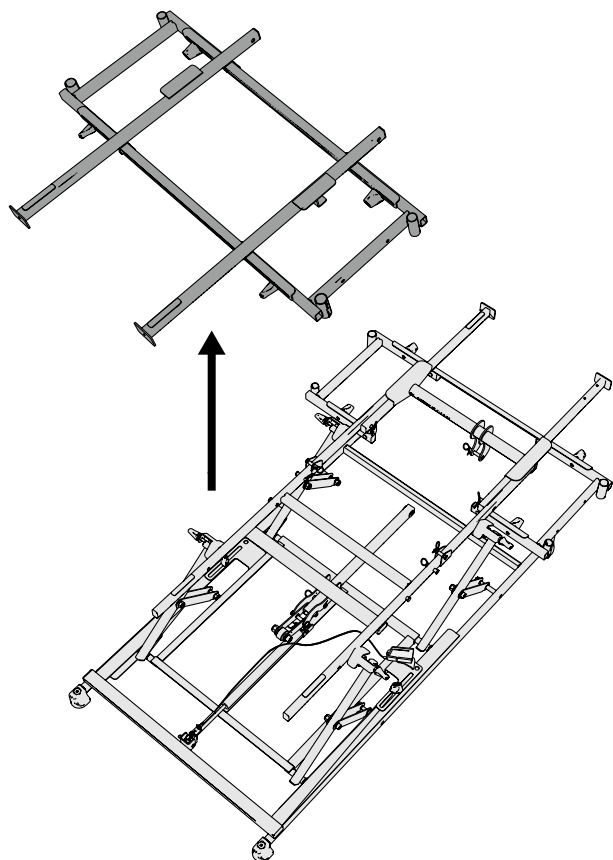
③抜いたピンは紛失防止のため、ヘッドフレームの元の穴に取り付けてください。



注意

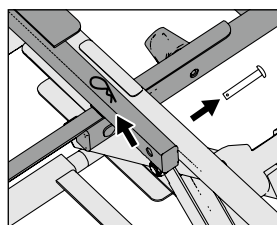
背上げ用モーターの落下には十分注意してください。

7 ヘッドフレーム・フットフレームの取り外し

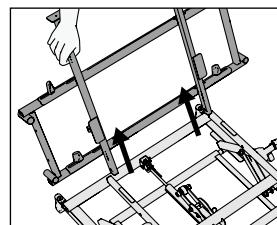
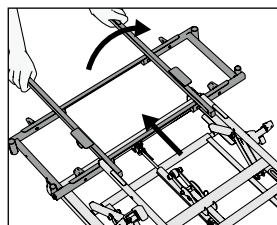


①フットフレームを取り外します。

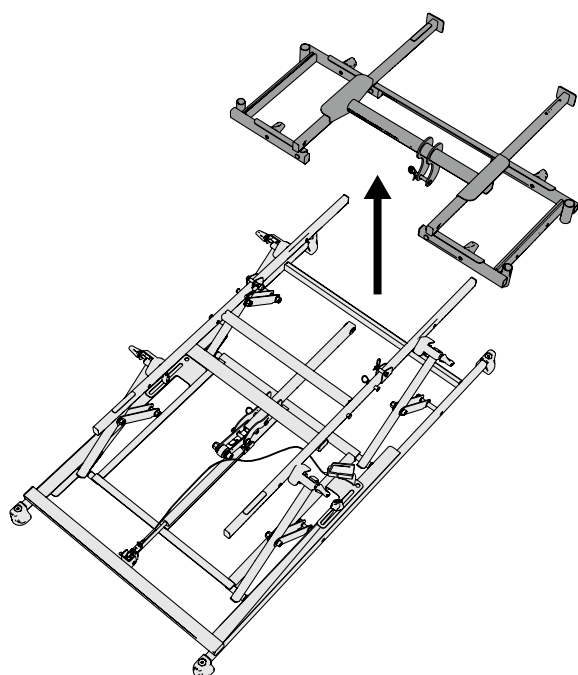
センターフレームとフットフレームを固定しているフットフレーム固定ロングピンを外してください。(2ヶ所)



フットフレームのボード受け部を持ち、手前にスライドさせながら起こすようにして取り外してください。

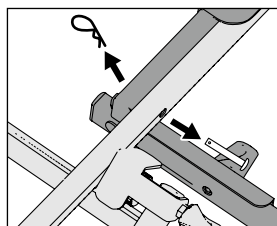


抜いたピンは紛失防止のため、センターフレームの元の穴に取り付けてください。(2ヶ所)

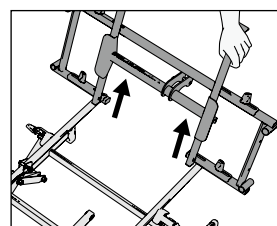
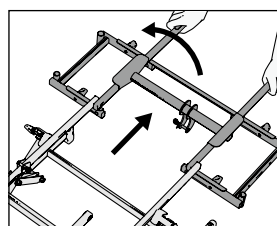


②ヘッドフレームを取り外します。

センターフレームとヘッドフレームを固定しているヘッドフレーム固定ロングピンを外してください。(2ヶ所)

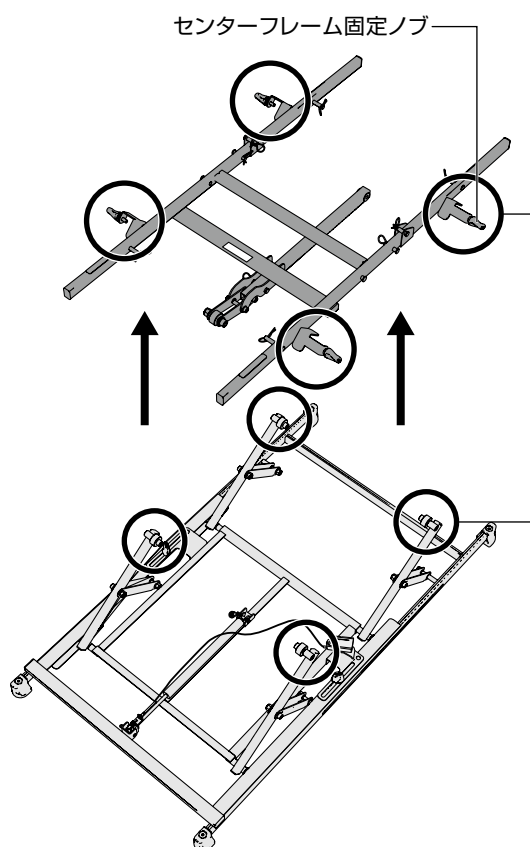


ヘッドフレームのボード受け部を持ち、手前にスライドさせながら起こすようにして取り外してください。

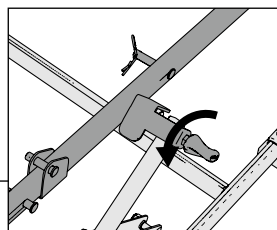


抜いたピンは紛失防止のため、センターフレームの元のに取り付けてください。(2ヶ所)

8 センターフレームの取り外し

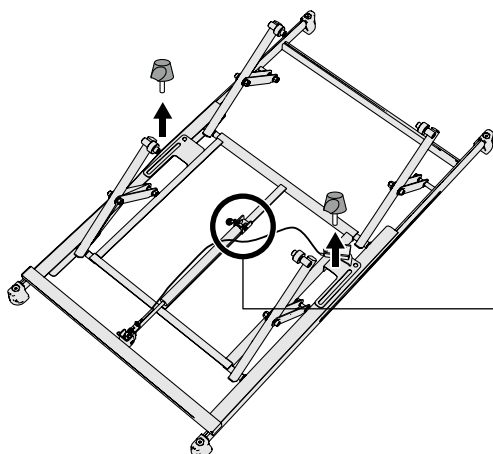


①センターフレーム固定ノブ(4ヶ所)をゆるめてください。

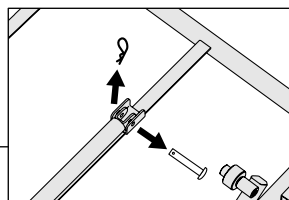


②センターフレームをゆっくり持ち上げて取り外します。

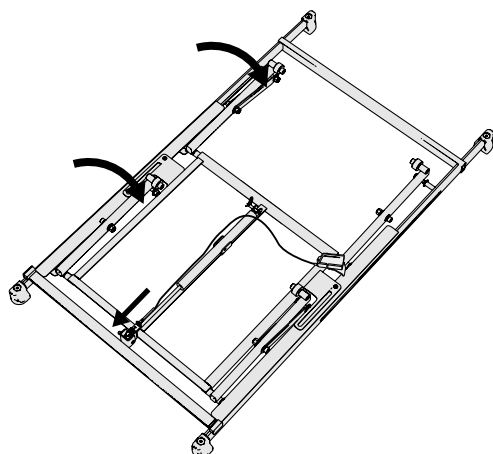
9 ベースフレームの取り外し



- ① ベースフレームに固定している高さ調整シリンダー固定スリムピンを外してください。
抜いたピンは紛失防止のため、高さ調整シリンダーの元の穴に取り付けてください。

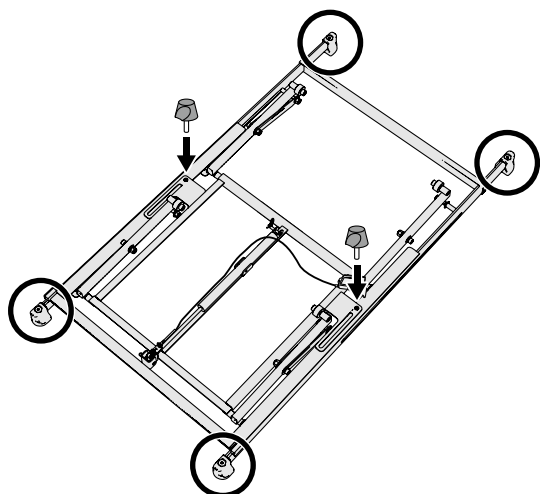


- ② 高さ調整固定ノブ(2ヶ所)を外してください。
③ ローラー部分を押し下げてベースフレームをたたんでください。

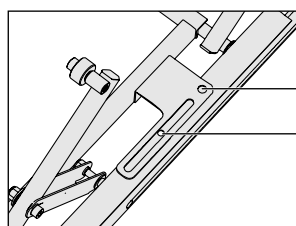


警告

高さ調整固定ノブを外すと急にベースフレームが下がる場合があります。
指や足のはさみ込みに注意して取り外してください。



- ④ 高さ調整固定ノブを下図の出荷時穴(収納時穴)に取り付けてください。(2ヶ所)

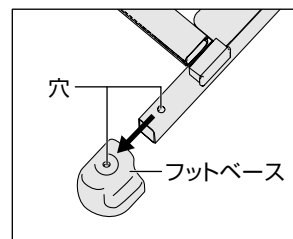


出荷時穴(収納時穴)
スライド穴

- ⑤ フットベースを取り外します。
フットベース固定クリップを抜いて、フットベースを取り外してください。(4ヶ所)

フットベース固定クリップ
5mmサイズの棒などで上の突起を押し込みます。

クリップが浮きますので、すき間にマイナスドライバーなどを差し込んで抜いてください。

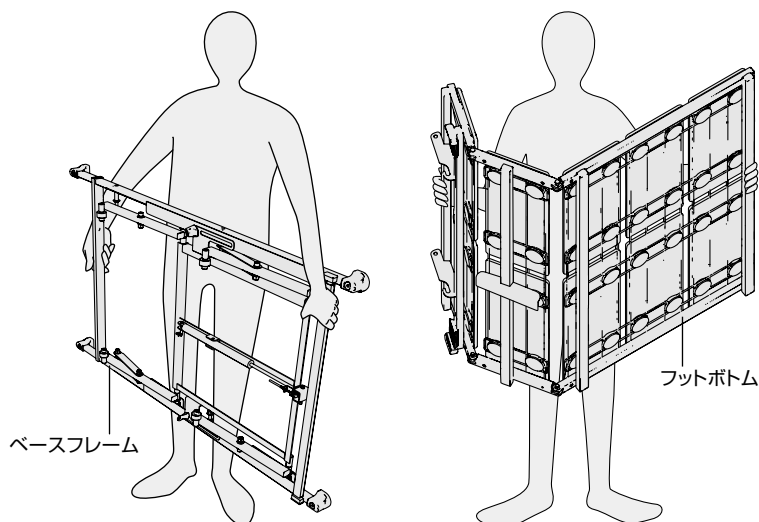


警告

フットベース固定クリップを外す場合は、すき間にマイナスドライバーなどを差し込み取り外してください。
指のツメを入れて外すとケガをするおそれがあります。

運搬方法

ベースフレーム・フットボトムの運搬方法



【ベースフレームの場合】
図左のように持って運んでください。

【フットボトムの場合】
クッション面を自分側に向け、両端を
図右のように持って運んでください。



注意 足の上に落とさないよう注意してください。

保管方法

長期にわたりベッドを使用しない場合は、下記の点にご注意ください。

1. 組み上がった状態でベッドを保管する場合

- ⊗ ベッドは壁に立て掛けたりせず、床に水平のまま保管してください。
- ⊗ ベッドの高さを最低位置まで下げ、背上げをフラットな状態にしてください。
- ⓪ ベッドの上にはマットレス以外のものを載せないでください。
- ⓪ 高温、多湿、ほこりの多い場所を避けてください。
- ⓪ 電源プラグをコンセントから抜いて、はさんだり絡んだりしない場所に束ねておいてください。
- ⓪ 取扱説明書を紛失しないよう、いつでも見られる場所に保管してください。

2. 分解して保管する場合

- ⊗ 他のものと重ねて置いたり、不安定な状態で立て置き保管はしないでください。
- ⊗ 重いものを上に載せないでください。(変形の原因になる場合があります)
- ⓪ 汚れを取り除き、よく乾燥させて保管してください。
- ⓪ 材質や色が変化するおそれがあるので、直射日光の当たらない場所で保管してください。

※ベッドの分解は販売店にご依頼されることをお勧めします。

- P24～P29の分解の手順に従って分解してください。
- ※使用を再開する場合は、P31の手順に従って点検を行ってください。

お手入れ方法

消毒する場合は、アルコール消毒剤などを柔らかい布に吹き付けてから清拭してください。

清拭する場合は、中性洗剤を水で薄め柔らかい布に浸し、よく絞ってから清拭してください。仕上げに乾いた布で拭き取ってください。



- ⊙ 次亜塩素酸を使用する場合は、6%水溶液を100～200倍に希釈して清拭し、仕上げに水拭きしてください。
- ⊙ 有機溶剤（シンナーやベンジンなど）、強酸性洗剤は使用しないでください。
- ⊙ オゾン消毒をする場合は、背上げ用モーターと高さ調整シリンダー・固定ノブ・ボトムパッドをフレームから取り外して消毒してください。
- ⊙ 60℃以上の温度を加えないでください。
- ⊙ 金属ブラシ、ナイロンたわしなどはキズをつけるため、使用しないでください。

点検項目

ベッド組み立て後の確認事項

組み立てが完了しましたら、下記の点検項目を確認してください。
またこの点検項目は日常の点検にもお使いください。

点 検 項 目		確 認	
1	すき間の確認 ・ 壁とヘッドボード、ベッドサイドの距離は8cm以内または45cm以上ありますか？ ・ 壁とフットボードの距離は30cm以上ありますか？	YES <input type="checkbox"/>	NO P9参照
2	障害物の確認 ・ 背を上げたままベッドの高さを一番上まで上げたとき、 周辺の物に当たらないように設置してありますか？	YES <input type="checkbox"/>	NO
3	ベースフレームとセンターフレームの接続 ・ センターフレーム固定ノブが取り付けられていますか？（各4ヶ所）	YES <input type="checkbox"/>	NO P11参照
4	センターフレームとヘッドフレームの接続 ・ ヘッドフレーム固定ロングピンと割りピンが取り付けられていますか？（2ヶ所）	YES <input type="checkbox"/>	NO P12参照
5	センターフレームとフットフレームの接続 ・ フットフレーム固定ロングピンと割りピンが取り付けられていますか？（2ヶ所）	YES <input type="checkbox"/>	NO P13参照
6	フットベースの確認 ・ フットベース固定クリップで正しく取り付けられていますか？（各4ヶ所）	YES <input type="checkbox"/>	NO P10参照
7	ヘッドボトムの接続 ・ ヘッドボトム固定ロングピンと割りピンが取り付けられていますか？（2ヶ所）	YES <input type="checkbox"/>	NO P14参照
8	フットボトムの接続 ・ フットボトム固定ショートピンと割りピンが取り付けられていますか？（2ヶ所）	YES <input type="checkbox"/>	NO P15参照

点検項目

点検項目		確認	
9	高さ調整レバーの確認 ・高さ調整レバーのワイヤーは、シリンダーの上を通っていますか？ ・高さ調整レバーを握り上昇・下降しますか？	YES <input type="checkbox"/>	NO P16、P18参照
10	ボトムパッドの確認 ・ボトムパッドが適切にレイアウトされていますか？ ・ボトムパッドの固定部が浮き上がっていませんか？	YES <input type="checkbox"/>	NO
11	ヘッド・フットボードの固定 ・フックがしっかり固定されていますか？	YES <input type="checkbox"/>	NO P17参照
12	電源コードの確認 ・可動部やフレームにはさまれていませんか？	YES <input type="checkbox"/>	NO
13	センターフレーム固定ノブ・サイドレール受け固定ノブ・高さ調整固定ノブの確認 ・固定ノブがしっかりしめられていますか？	YES <input type="checkbox"/>	NO P11、P14、P18参照
14	背上げ用モーターの確認 ・ワイヤレス(無線)リモコンの『あがる』『さがる』を押して作動しますか？ ・異音や振動がありませんか？	YES <input type="checkbox"/>	NO P19参照
15	サイドレール高さの確認 ・布団・マットレスの厚さに合わせたサイドレールですか？	YES <input type="checkbox"/>	NO
16	サイドレール取り付けの確認 ・サイドレール受けに正しく取り付けられていますか？ ・Hタイプは付属の固定ネジでしっかりと固定しましたか？	YES <input type="checkbox"/>	NO P21参照
17	サイドレール受けの固定 ・サイドレール受けは正しく固定されていますか？	YES <input type="checkbox"/>	NO P14参照
18	布団・マットレスの確認 ・布団・マットレスは正しいサイズですか？ ・91cm幅のマットレス使用の場合は、専用スペーサーとボックスシーツを併用していますか？	YES <input type="checkbox"/>	NO

症 状	確 認	処 置
背上げが 上がらなくなった 下がらなくなった	電源コードがコンセントに 接続されていますか？	電源コードをコンセントに接続してください。
	ワイヤレス(無線)リモコンの電池が 消耗していませんか？	12V-23A乾電池を交換してください。 (P20参照)
	単5電池を使用していませんか？	12V-23A乾電池に交換してください。 (P20参照)
	ワイヤレス(無線)リモコンと 背上げ用モーターのペアリングNoの 組み合わせが違っていませんか？	モーター側注意シールと ワイヤレス(無線)リモコンのペアリングNoを 合わせてください。(P20参照)
	背上げ用モーター固定ロングピンが 外れていませんか？	背上げ用モーター固定ロングピンを 取り付けてください。(P13参照)
高さ調整ができない	高さ調整レバーを握っていますか？	高さ調整レバーを握って高さ調整を してください。(P18参照)
	高さ調整固定ノブをゆるめていますか？	高さ調整固定ノブをゆるめて 調整してください。
	【下からない場合】 高さ調整レバーを握り、利用者様が 座った状態で上から押さえていますか？	高さ調整レバーを握り、利用者様が座った 状態で押さえてください。(P18参照)
	【上からない場合】 高さ調整レバーを握り、利用者様が 座った状態で上昇させていませんか？	高さ調整レバーを握り、利用者様の腰を 少し浮かせた状態で調整してください。 (P18参照)
	高さ調整シリンダー固定スリムピンが 外れていませんか？	高さ調整シリンダー固定スリムピンを 取り付けてください。(P10参照)
	高さ調整シリンダーが 破損していませんか？	お求めの販売店または(株)モルテン健康用品 事業本部お客様窓口までご相談ください。
ひざが上がらない	ひざ上げ連動ロッドが 接続されていますか？	ひざ上げ連動ロッドを所定の穴に取り付けて ください。(P15参照)
ベッドがグラつく	高さ調整固定ノブが ゆるんでいませんか？	高さ調整固定ノブをしっかりしめてください。 (P18参照)
サイドカバーの 取り付けができない	サイドカバー取り付けの向きが ありますか？	P17を参照し、取り付けてください。
サイドレールに グラつきがあり不安定	サイドレール受け固定ノブが ゆるんでいませんか？	サイドレール受け固定ノブをしめてください。
サイドレールの 取り付けができない	サイドレール取り付けの向きが ありますか？	サイドレール軸は左右で太さが違います。 取り付け穴に合わせて取り付けください。 (P21参照)

上記の処置で直らなかった場合、またはその他の現象の場合は、お求めの販売店または
(株)モルテン 健康用品事業本部 お客様窓口までご相談ください。

株式会社 モルテン 健康用品事業本部 お客様窓口
TEL(082)578-9226

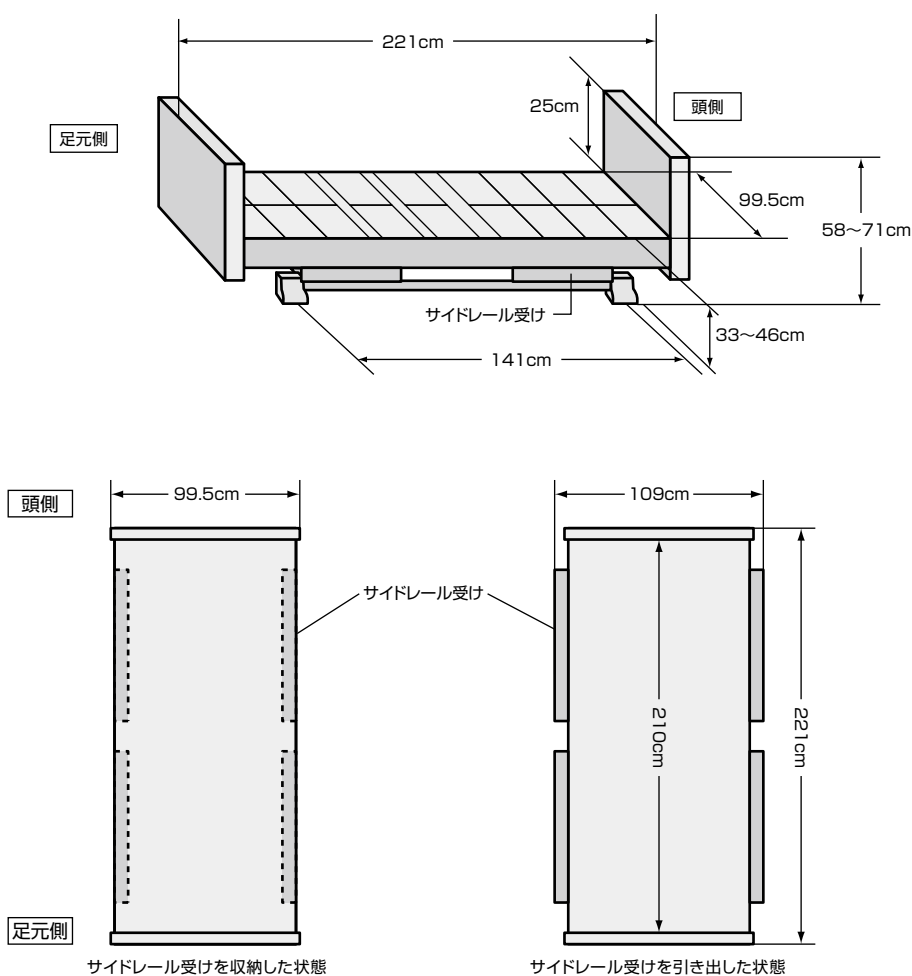
〈電話による受付時間〉月曜日～金曜日／9:00～17:00 ※祝祭日、年末年始、ゴールデンウィーク、夏季休業日など弊社休業日を除く

仕様

モーニングライト

品番 MMLTBK(ラグジュアリー)/MMLTIV(エレガント)/MMLTBE(ナチュラル)

- 素 材 フレーム：スチール
クッションボトム：スチール・EVA
樹脂ボード：ポリプロピレン
- 外サイズ：幅99.5cm×高さ58cm～71cm×長さ221cm
- ボトムサイズ：幅99cm×長さ210cm
- 高さ調整：床面からボトムまで33cm～46cm(調整量13cm)



- 使用者最大体重：100kg ●安全使用荷重：1200N ●重量：67kg
- 最大角度：背上げ部=約60度、ひざ上げ部=約16度
- 最大背上げ時間：約28秒
- 背上げ連続操作可能時間：約2分(連続でワイヤレス(無線)リモコンの操作を行う場合、18分の休止時間が必要です。)
- 背上げ用モーター：AC100V 50/60Hz 85W

■手動式 無段階高さ調整

■電動式 ひざ上げ・背上げ

開発・製造元

ISO9001 認証取得

ISO13485 認証取得

※床ずれ防止マットレス・体動センサの設計、
製造および付帯サービスにて取得

本製品の取扱説明書と使用方法動画は
下記QRコードからダウンロードいた
できます。



取扱説明書



動画で見る製品情報

株式会社 **モルテン**

健康用品事業本部

www.molten.co.jp/health

東京 札幌 仙台 埼玉 名古屋 大阪 広島 福岡

製品他、各種お問い合わせは

〒733-0036 広島市西区観音新町四丁目10-97-21

TEL.082-578-9226

E-mail: health@molten.co.jp

〈電話による受付時間〉月曜日～金曜日／9:00～17:00

※祝祭日、年末年始、ゴールデンウィーク、夏季休業日など弊社休業日を除く

2024.07